

平成 26 年度 群馬県立館林美術館年報

2014.4 - 2015.3



Gunma Museum of Art,
Tatebayashi

群馬県立館林美術館

目次

・展覧会 p.3

A 展覧会一覧	p.3
B 企画展示記録	p.4
C コレクション展示記録	p.33
D 彫刻家のアトリエ(別館)展示記録	p.40
E 入館者数一覧表	p.41

・教育普及 p.42

A 講演会・アーティスト・トーク・パフォーマンス	p.42
B 作品解説会・ギャラリートーク・ポンポン・ツアー	p.42
C ワークショップ	p.44
D 創作体験コーナー みんなのアトリエ	p.45
E たてび☆びじゅつ部	p.45
F たてび土曜レクチャー	p.46
G コンサート・映画上映会	p.47
H 他団体への協力	p.47
I 学校連携その他	p.48
J 地域に開かれた美術館づくり	p.52
K 刊行物	p.54
L ボランティア	p.55
M 友の会	p.55

・所蔵資料 p.56

A 美術作品	p.56
B 図書資料その他	p.59

・関係者および職員名簿 p.60

展覧会

A 展覧会一覧

(1)企画展示

展示名	会期・会場	内容
陽光の大地ーブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル ～兵庫県立美術館所蔵 リカルド・タケシ・赤川コレクションを中心に～	4/26～6/29 展示室2～4	サンパウロ在住の現代美術のコレクター、リカルド・タケシ・赤川氏より兵庫県立美術館に寄贈された赤川コレクションと、国内に所蔵されている大岩オスカルの作品あわせて90点により展示し、ブラジルの日系人画家たちの作品を紹介した。
夏休み！いきもの図鑑	7/19～8/31 展示室2～4	西洋の植物図譜、『ファーブル昆虫記』の挿絵や甲殻類の細密な木版画、魚類の透明標本、花のパーツでできた虫など、178点を展示した。アーティストが生きものの観察によって得た多彩な表現を通して、自然と人間の親密な交流に迫った。
ペルシアのきらめき ーペルセポリスとシルクロードの美術	9/20～11/30 展示室2～4	きらめきに満ちたペルシアの美術より、東西交流そして文化の華と言われたカットガラスと陶磁器の至宝と言われるラスター彩を中心に、ガラス、金銀器・コイン、三彩作品、96点を紹介した。群馬県松井田工業団地遺跡出土の《奈良二彩小壺》も特別展示した。
ダイアローグー対話するアート	12/20～4/5 展示室2～4	作家と作品の歴史上の関係や時空を超えた類縁性に注目し、「ダイアローグ(対話)」をキーワードに、コレクションの密かな楽しみ方を提案した。当館と群馬県立近代美術館の作品及び現代作家のインスタレーション、全70点を紹介した。

(2)コレクション展示

展示名	会期・会場	内容
近現代の彫刻Ⅰ ー彫刻のベストショット	4/26～6/29 展示室1	高田博厚や掛井五郎など、近現代の彫刻を展示。
近現代の彫刻Ⅱ	7/19～8/31 展示室1	フランソワ・ボンボンやフェルナンド・ボテロなど、近現代の彫刻を展示。
児童木版画展関連 コレクションコーナー 藤牧義夫	7/19～8/31 展示室4	館林出身の版画家、藤牧義夫の作品を展示。
近現代の彫刻Ⅲ ー日本の現代抽象彫刻	9/20～11/30 展示室1	岡本健彦や保田春彦など、日本の現代抽象彫刻を展示。
近現代の美術	9/20～11/30 展示室4	ジャン=ミッシェル・ムーリスやクロード・ヴィアラなど、近現代の美術を展示。
近現代の彫刻Ⅳ ー彫刻にみる「かたさ」と「やわらかさ」	12/20～4/5 展示室1	イサム・ノグチやブルーノ・ロメダなど、近現代の彫刻を展示。

1. 陽光の大地—ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル—～兵庫県立美術館所蔵 リカルド・タケシ・赤川コレクションを中心に～

会期 平成26年4月26日(土)～6月29日(日)
 会場 展示室2、3、4
 主催 群馬県立館林美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
 後援 駐日ブラジル大使館、在東京ブラジル総領事館、大泉町、大泉町教育委員会
 協賛 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン・日本興亜損保、日本テレビ放送網、TURKISH AIRLINES
 協力 兵庫県立美術館、日伯経済文化協会(ANBEC)
 観覧料 一般600(480)円 大高生300(240)円
 ()内は、20名以上の団体割引料金

本展は、サンパウロ在住の現代美術のコレクター、リカルド・タケシ・赤川氏により兵庫県立美術館に寄贈されたコレクションを中心に、ブラジルの日系人画家の活動に迫った展覧会である。赤川コレクションからは、大正時代にブラジルに渡った半田知雄をはじめ、大竹富江、間部学らブラジルにおいて敬愛される画家たち、そして戦後に移住した豊田豊など、42名の作家による62点を紹介した。

さらに、ブラジル生まれの新世代を代表する大岩オスカルに焦点を当て、国内に所蔵される作品を加えて展示した。日本を舞台に光溢れる日常世界をテーマにした作品群、不安や終末観の漂う作品群、2014 FIFA ワールドカップのために作られたポスターを含む、ブラジルをテーマにした作品群により、時間や空間を超え、ウィットやユーモアに満ちた世界観を表現する大岩オスカルの魅力に迫った。

群馬県は1980年にブラジル・サンパウロ州と姉妹提携を結び、当館からほど近い距離に位置する邑楽郡大泉町は、ブラジル人の人口比率が全国で一番高い町である。本展では、大泉町を始め、ブラジル関係各機関の協力により、会期中に数多くの関連事業を開催できた。講演会や映画上映会、地域のブラジル人学校の生徒たちを迎えたブラジル祭り、大学生ボランティアと共同で行った鑑賞授業など、地域や近県のブラジル人との交流の場となり、東京方面からも参加者を呼ぶことができた。

本展は、太陽の光が降り注ぐブラジルの大地に魅せられた日系人画家の仕事を顧みると同時に、遠くて近い日本とブラジルの関係や、相互の文化的理解を深める機会となった。



ポスター



図録



ジュニアガイド

出品目録

第Ⅰ章 ブラジルの風土と日系人画家たちー風景、人物、静物画

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1	半田知雄	自画像	1941	油彩・板	33.5×24.6	兵庫県立美術館 (No.60まで同上)
2	半田知雄	農民	1956	油彩・カンヴァス	54.3×65.2	
3	高岡由也	自画像	1967	油彩・カンヴァス	45.0×38.0	
4	高橋吉左衛門	無題	1974	水彩・紙	36.0×28.0	
5	鈴木威	無題	1956	油彩・カンヴァス	37.0×55.0	
6	田中ヴァルテル重人	タバチンゲーラ	1969	油彩・カンヴァス	54.5×65.0	
7	田中ヴァルテル重人	オウロ・プレット	1969	油彩・カンヴァス	73.0×60.5	
8	高岡由也	オウロ・プレットの風景	1975	油彩・カンヴァス	65.0×81.0	
9	白井久雄	パリ	1986	油彩・カンヴァス	53.0×45.4	
10	沖中正男	モンターニュ広場・パリ	1980	油彩・カンヴァス	54.8×64.8	
11	上永井正	無題	1975	油彩・カンヴァス	50.0×61.0	
12	野尻純正	無題	1979	油彩・カンヴァス	60.0×40.0	
13	宮下作子	レジストロの風景	2005	油彩・カンヴァス	60.5×90.5	
14	宮下作子	ジョアノポリスの風景	2005	油彩・カンヴァス	60.0×90.0	
15	砂古友久	3艇のボート	2008	油彩・カンヴァス	70.8×100.5	
16	高岡由也	無題	1939	水彩・紙	33.8×26.2	
17	高岡由也	無題	1955	水彩・紙	57.0×65.3	
18	森ジョルジ	無題	1956	銅版・紙	24.5×39.0	
19	福島隆	リオ・テッラ (運河を埋め立てた道)	1981	油彩・カンヴァス	99.8×120.0	
20	西尾勝典	無題	2005	油彩・カンヴァス	55.0×65.0	
21	玉木勇次	無題	不明	油彩・カンヴァス	50.0×60.0	
22	檜垣肇	無題	1945	油彩・板	24.0×31.2	
23	半田知雄	無題	1975	油彩・カンヴァス	45.8×38.2	
24	安芸正人	無題	1971	油彩・カンヴァス	50.0×40.2	
25	玉木勇次	無題	不明	油彩・カンヴァス	33.0×43.0	
26	玉木勇次	花瓶	不明	油彩・カンヴァス	55.0×45.5	
27	野村哲夫	無題	1975	ラッカー・板	41.0×33.2	
28	沖中アリナ	無題	1962	油彩・カンヴァス	32.0×41.0	
29	田菊ふみ	15:30の石	2007	油彩・カンヴァス	109.7×129.8	
30	鈴木幸男	無題	1965	木炭・紙	95.5×65.2	
31	鈴木幸男	無題	1965	木炭・紙	95.5×65.0	
32	フラビオ・シロー	見張り	1974/75	ミクストメディア・ カンヴァス	131.0×195.0	
33	フラビオ・シロー	黙示録	1966	油彩・カンヴァス	189.5×133.0	
34	フラビオ・シロー	地平線	1982	油彩・カンヴァス	127.0×127.0	

第Ⅱ章 新たな表現の希求ー抽象に向かって

35	若林和男	無題	1979	油彩・板	93.0×93.0	
36	岡本アヤオ	レタス	1994	ミクストメディア・カン ヴァス	150.0×150.5	
37	間部学	無題	1960	油彩・カンヴァス	132.0×164.0	
38	福島近	無題	不明	油彩・カンヴァス	33.5×45.2	
39	大竹富江	無題	不明	油彩・カンヴァス	150.0×150.0	
40	大竹富江	無題	1986	油彩・カンヴァス	100.1×200.2	
41	金子太郎	ライラック色の秋	2004	油彩・カンヴァス	77.0×181.8	
42	近藤敏	無題	2005	アクリル・カンヴァス	60.0×90.0	
43	廣田建一	無題(三幅対)	2000	油彩・カンヴァス	56.0×152.0	
44	庄山マウロ	アマゾン	2007	ミクストメディア・カン ヴァス	119.8×180.0	
45	島袋アデマール	無題	1994	ミクストメディア・カン ヴァス	101.0×121.0×10.0	
46	吉沢太	多次元(三幅対)	1998	アクリル、革、鏡、木	左:103.0×48.0×7.5 中:104.0×48.0×7.0 右:100.0×48.0×7.0	
47	近藤直人	無題	1993	インク・紙	36.0×36.0	
48	近藤直人	無題	2000	アクリル・カンヴァス	70.0×70.0	
49	近藤直人	無題(1/4)	2006	アクリル・カンヴァス	50.0×79.8	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
50	近藤直人	無題(2/4)	2006	アクリル・カンヴァス	50.0×79.8	
51	近藤直人	無題(3/4)	2006	アクリル・カンヴァス	50.0×79.8	
52	近藤直人	無題(4/4)	2006	アクリル・カンヴァス	50.0×79.8	
53	豊田豊	錯覚の空間 No.9	1986	セリグラフ・紙	49.8×50.2	
54	豊田豊	赤い空間	1978	アクリル・木、鉄	88.8×87.8×9.0	
55	楠野友繁	無題	1969	油彩・カンヴァス、板、ウレタン	119.5×92.0×9.0	
56	楠野隆夫	構成の旅	1977	油彩・カンヴァス	49.8×39.8	
57	奥村リディア	エネルギー・アンサンブル	1992	アクリル・カンヴァス	101.5×101.6	
58	金子謙一	無題	2002	油彩・カンヴァス	70.0×70.0	
59	越石幸子	無題	2003	アクリル・カンヴァス	100.0×100.0	
60	工藤ジェームス	無題	2007	アクリル・カンヴァス	140.0×160.0	

第三章 飛翔する新世代－大岩オスカル

61	大岩オスカル	ハチ公のレントゲン p.m.	1993	アクリル、鉛筆・合板	73.5×129.3	株式会社クラム・アート
62	大岩オスカル	柵の心1	1993	アクリル、鉛筆・木	184.3×47.1×2.5	東京都現代美術館
63	大岩オスカル	柵の心2	1993	アクリル、鉛筆・木	185.0×42.0×2.2	東京都現代美術館
64	大岩オスカル	空の展望台	1995	アクリル、鉛筆、コー ヒー・合板	45.0×60.0	株式会社クラム・アート
65	大岩オスカル	工事中	1995	アクリル、鉛筆、コー ヒー・合板	45.0×60.0	株式会社クラム・アート
66	大岩オスカル	地球駅	1995	アクリル、鉛筆、コー ヒー・合板	45.0×60.0	株式会社クラム・アート
67	大岩オスカル	地獄駅	1995	アクリル、鉛筆、コー ヒー・合板	45.0×60.0	株式会社クラム・アート
68	大岩オスカル	シャドウキャットとライトラビ ットの出会い2	1999	油彩・カンヴァス	227.0×222.0	群馬県立近代美術館寄 託 1氏コレクション
69	大岩オスカル	古代美術館の入り口	2000	鉛筆、水彩、コー ヒー・紙	23.0×23.0	作家蔵
70	大岩オスカル	ホワイト(オス)カー 森	2000	油彩・カンヴァス	227.0×444.0	東京都現代美術館
71	大岩オスカル	バベルの塔 (P.ブリュゲル)	2000	ミクストメディア	66.0×34.0×40.0	東京都現代美術館
72	大岩オスカル	生存競争1	2002	ミクストメディア	7.0×59.4×42.0	東京都現代美術館
73	大岩オスカル	生存競争2	2002	ミクストメディア	7.0×29.5×19.4	東京都現代美術館
74	大岩オスカル	雪男	2002	鉛筆、コーヒー・紙	24.0×18.0	作家蔵
75	大岩オスカル	雷雨	2002	油彩・カンヴァス	226.7×442.0	兵庫県立美術館
76	大岩オスカル	WWW.Com	2003	油彩・カンヴァス	227.0×444.0	兵庫県立美術館
77	大岩オスカル	Japanese Sweets	2005	鉛筆、水彩・紙	8.5×17.0	作家蔵
78	大岩オスカル	Loft	2006	油彩・カンヴァス	140.0×280.0	群馬県立近代美術館寄 託
79	大岩オスカル	シャドウキャット	2008	ブロンズ	39.0×50.0×35.0	GALLERY CAPTION
80	大岩オスカル	ライトラビット	2008	白銅	37.0×60.0×29.0	GALLERY CAPTION
81	大岩オスカル	Chocolate Cake Factory	2008	鉛筆、水彩・紙	14.7×24.7	作家蔵
82	大岩オスカル	Lasagna	2008	鉛筆、水彩・紙	15.3×23.7	作家蔵
83	大岩オスカル	Looking My World	2009	鉛筆、水彩・紙	22.9×30.5	作家蔵
84	大岩オスカル	Nest with Stairs	2012	油彩・カンヴァス	91.5×61.0	作家蔵
85	大岩オスカル	Moby Dick	2012	油彩・カンヴァス	61.0×91.5	作家蔵
86	大岩オスカル	Big Fish	2012	油彩・カンヴァス	61.0×91.5	作家蔵
87	大岩オスカル	Pirate Ship	2012	油彩・カンヴァス	61.0×91.5	作家蔵
88	大岩オスカル	World Trade	2012	油彩・カンヴァス	61.0×91.5	作家蔵
89	大岩オスカル	Playing Soccer at Noon (2014 FIFAワールドカ ップ・ブラジル オフィシャル アートプリントエディション)	2012	インクジェットリトグラ フ・紙 (ed. 57/2014)	111.7×78.4	群馬県立館林美術館
90	大岩オスカル	Plaing Soccer 1 (Small)	2013	油彩・カンヴァス	101.0×81.0	作家蔵

◎印刷物・会場作成物

・図録 B5判変形(25.7×19.0cm) 48頁

内容:

謝辞

目次

ごあいさつ

日系ブラジル社会の美術状況(金澤毅)

図版

第Ⅰ章 ブラジルの風土と日系人画家たち—風景、人物、静物画

第Ⅱ章 新たな表現の希求—抽象に向かって

第Ⅲ章 飛翔する新世代—大岩オスカル

ブラジルの大地から世界へ—大岩オスカルの本展出品作品について(野澤広紀)

作家略歴

作品リスト

執筆:金澤毅(美術評論家)、野澤広紀(群馬県立館林美術館学芸員)

編集:野澤広紀、松下和美(群馬県立館林美術館学芸員)

翻訳:大岩幹男(アナ・ログ翻訳事務所)

デザイン:栗原幸治(クリ・ラボ)

制作:インターパブリカ

印刷:アイワード

発効日:2014年4月26日

発行:群馬県立館林美術館

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド A3四つ折

・パネル

挨拶2枚、章解説3枚、年表2枚、新聞記事2枚

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に※、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・朝日新聞

6.4夕刊

「「陽光の大地」展 日系ブラジル人 足跡」※

・朝日ぐんま

6.13

「アートでブラジル感じて！ 館林美術館で29日まで」※

・産経新聞

5.18

「日系画家が描くブラジルアート」〈美の扉〉※

・上毛新聞

5.2

「絵画に移民の歴史 館林美術館 日系画家40人の作品紹介」※

5.17

「県立館林美術館でブラジルの日系人画家たちの作品を紹介する企画展「陽光の大地」が開催中」〈三山春秋〉

6.13

「県立館林美術館「陽光の大地—ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル」」〈気になる情報 ばれっと 県内美術館 博物館〉

・上毛新聞シャトル

6.18

「企画展示「陽光の大地—ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル—」〜兵庫県立美術館所蔵リカルド・タケシ・赤川コレクションを中心に〜」異国に渡り才能開花 ブラジル日系人の絵画」〈GMATだより〉※(学芸員 野澤広紀)

・日本経済新聞

5.13

「ブラジル日本つながりを知って 各地で関連イベント」

・毎日新聞

6.16夕刊

「陽光の大地 ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル」〈展覧会〉

・読売新聞

4.18

「陽光の大地 ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル」

4.27

「陽光の大地展 開幕 ブラジルの日系人画家紹介」※

5.15

「ブラジル日系人画家 文化混成の美の世界 群馬・館林で作品展」※

5.18

「間部学 激しいタッチ「陽光の大地 ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル」展」※(学芸員 野澤広紀)

5.25

「国際貿易 ネットと肉塊で「陽光の大地 ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル」展」※(学芸員 野澤広紀)

6.6

「美術交流でルーツ探ろう 小学生対象 館林美術館」

6.25

「ブラジル人学校生徒 日系移民の文化学ぶ」

・読売新聞

6.4夕刊

「こだわらな豆から」

・群馬よみうり ビバ！アミーゴ

4.18

「ブラジルがテーマの企画展 館林美術館で「陽光の大地」展26日から」※

6.13

「アートを手近に感じて 美術館のミュージアムショップをご案内 県立館

林美術館」

〔定期刊行物〕

・ギャラリー

4月号

「陽光の大地—ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル〜兵庫県立美術館所蔵 リカルド・タケシ・赤川コレクションを中心に〜」〈Special Exhibition〉＊

・芸術新潮

6月号

「陽光の大地—ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル」〈exhibiton PICK UP〉

・月刊アートコレクターズ

6月号

「陽光の大地—ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル」〈展覧会のご案内〉

・DRESS

8月号

「大岩オスカル」陽光の大地—ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル〜兵庫県立美術館所蔵 リカルド・タケシ・赤川コレクションを中心に〜」〈今月のブラジル〉

・美術手帖

6月号

「陽光の大地 ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル」〈ART NAVI〉

・美術の窓

2月号

「陽光の大地—ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル」〈必見！！今年の展覧会ベスト200〉

6月号

「イメージのもつ力で自己世界を描く インタビュー 大岩オスカル」〈異論反論・現代美術〉＊

・美連協ニュース

5月号

「陽光の大地—ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル〜兵庫県立美術館所蔵 リカルド・タケシ・赤川コレクションを中心に〜」〈展覧会紹介〉＊（学芸員 野澤広紀）

・読売家庭版

4月号

「陽光の大地—ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル」〈イベント・インフォメーション〉

◎放送

〔テレビ〕

・NHK教育テレビ

5.25

「陽光の大地—ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル〜兵庫県立美術館所蔵 リカルド・タケシ・赤川コレクションを中心に〜」〈日曜美術館・アートシーン〉

・群馬テレビ

6.4

「陽光の大地—ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル〜兵庫県立美術館所蔵 リカルド・タケシ・赤川コレクションを中心に〜」〈ニュースeye8〉

・NHK

6.18

「陽光の大地—ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル〜兵庫県立美術館所蔵 リカルド・タケシ・赤川コレクションを中心に〜」〈ほっとぐんま640〉

〔ラジオ〕

・FM群馬

5.8

「企画展示「陽光の大地—ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル〜兵庫県立美術館所蔵 リカルド・タケシ・赤川コレクションを中心に〜」関連行事「学芸員による作品解説会」のお知らせ」〈ぐんま情報トップページ〉

・FM太郎

4.17

「企画展示「陽光の大地—ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル〜兵庫県立美術館所蔵 リカルド・タケシ・赤川コレクションを中心に〜」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

6.5

「関連事業「映画『グラス☆ホッパー』上映会+トーク」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

6.12

「関連事業「ブラジリアン・シネマ・デー」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

6.19

「関連事業「作品解説会」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

◎関連事業

・大岩オスカル アーティスト・トーク

4.26

ギャラリートーク

講師:大岩オスカル(出品作家)

4.27

レクチャー「日系ブラジル人アートと大岩オスカル」

講師:大岩オスカル(出品作家)

・記念講演会

5.18

「ブラジル美術の魅力ー赤川コレクションを中心にー」

講師:金澤毅(美術評論家、中南米美術研究家)

・ブラジル祭り

5.3

ボサノヴァ・アフタヌーン・ライブ

出演:Paulo & Luci 平野

ブラジルの伝統的な田舎祭フェスタ・ジュニーナのダンス

出演:ブラジル人学校GENTE MIUDA(ジェンテミウダ)校生徒

・上映会+トーク

5.11

映画『移民画家トミエ・オオタケを巡って』

講師:岡村淳(映画監督)

6.8

映画『グラス☆ホッパー』

講師:藤橋誠(映画監督)

・トーク&カフェ

5.25

「ブラジルコーヒーを楽しもう」

講師:間庭邦夫(tonbi coffee店主)

・ブラジリアン・シネマ・デー

6.15

①『孤独なツバメたち』

②『ヴィック・ムニーズ ごみアートの奇跡』

③『僕のことを話そう』

協力:NPO法人たかさきコミュニティシネマ

・たてび☆びじゅつ部

5.31、6.14

「ブラジルカラーのミサンガを編もう」

・ルーツを語るブラジル日系美術交流プロジェクト

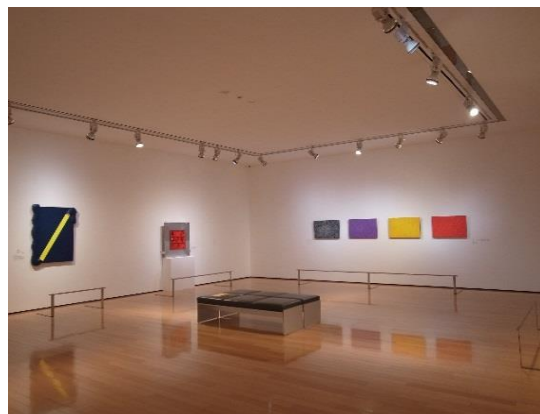
6.20、6.21、6.24

「ブラジル日系美術および移民史と子供の触れ合いプログラム」

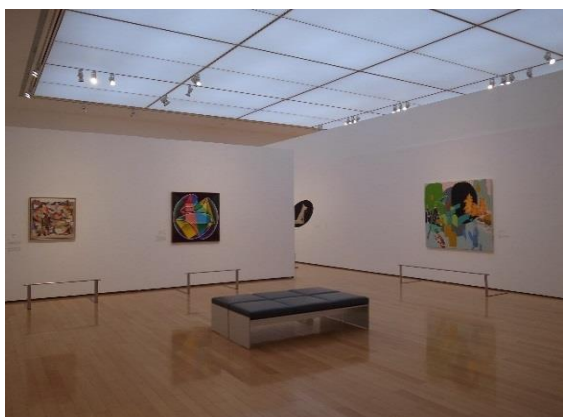
協力:一般財団法人日伯経済文化協会(ANBEC)



展示室2



展示室3



展示室4

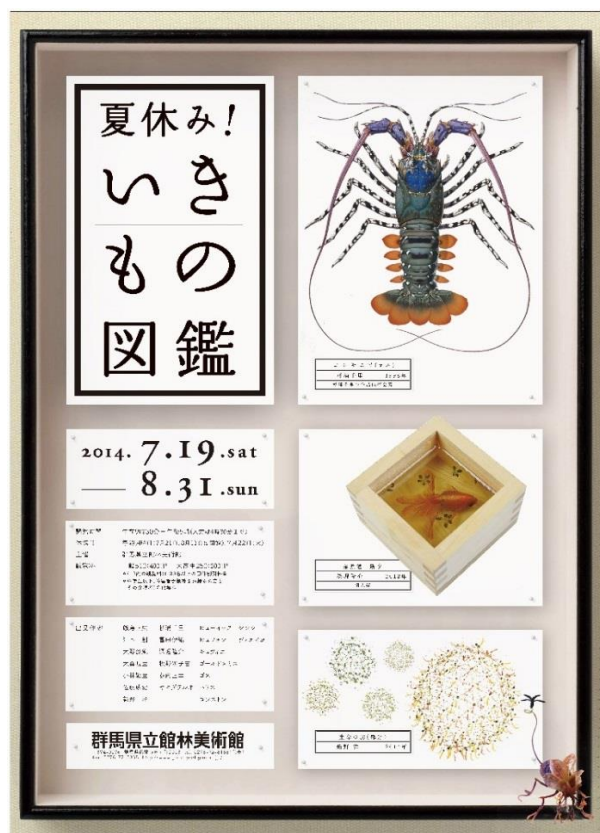


展示室4

2. 夏休み！いきもの図鑑

会期 平成26年7月19日(土)～8月31日(日)
会場 展示室2、3、4
主催 群馬県立館林美術館
観覧料 一般:510(400)円、大高生:250(200)円
()内は20名以上の団体割引料金

変幻自在で驚きにみちたいきものの世界は、子どもからおとな、生物学者からアーティストまでも魅了する不思議な力をもっている。西洋の博物図譜、『広辞苑』『ファール昆虫記』などの挿絵や絵本、エビやカニの鮮やかな細密画、極細の線が響き合う木口木版画、本当にいるような、いないような魚や竜、鏡の中から羽ばたく鳥、樹脂を重ねながら描いた金魚、植物のパーツでできた虫、透き通るガラス細工のような魚、正確に再現された立体の鳥、そして二人の写真家が撮る群馬のいきものなど…、いきものの観察によって得た多彩な表現を通して、自然と人間の親密な交流を紹介する展覧会として企画した。



ポスター



目錄



ジュニアガイド

出品目録

*No.1,2,4は前期(7/19-8/10)のみ、
No.5,7,8,9は後期(8/11-8/31)のみの展示

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1	ヨハネス・ヨンス ン	『諸動物の詳説』 一角犀	1660刊行	エッチング・紙	17.5×30.0	慶應義塾図書館
2	ジョルジュ＝ルイ・ ルクレール・ド・ ビュフォン	『一般と個別の自然誌』第15 巻	1749-67刊行	エッチング・紙	21.4×16.3	慶應義塾図書館
3	オリバー・ゴール ドスミス	『大地と生物の自然史』第1 巻	1824以降刊行	エングレーヴィング、手彩 色・紙	15.5×25.2	群馬県立館林美術館
4	モーゼス・ハリス	『英国産昆虫図譜』 羽を広げた蜻蛉	1782刊行	エッチング、手彩色・紙	19.5×15.3	慶應義塾図書館
5	ルイ・ジャン・ピ エール・ヴィエイ	『鳥類画廊』第1巻 オナガオンドリタイランチョウ	1825刊行	リトグラフ、手彩色・紙	20.5×26.3	慶應義塾図書館
6	トマス・ビューイッ ク	『英国鳥類誌』第1巻 ミズク、メンフクロウ	1797刊行	木口木版・紙	22.7×14.5	群馬県立館林美術館
7	ジョルジュ・レオ ポール・キュヴィエ	『動物界』第8巻 マグロ、サバ	1836-49刊行	リトグラフ、手彩色・紙	15.5×24.4	慶應義塾図書館
8	ハインリッヒ・ルド ルフ・シンツ	『哺乳動物図譜』 バク	1848刊行	リトグラフ、手彩色・紙	21.5×30.3	慶應義塾図書館
9	フィリップ・ヘン リー・ゴス	『英国イソギンチャク・サンゴ 博物誌』 1.ベニヒモイソギンチャク 2.ヤドリイソギンチャク 3.ヤドリイソギンチャクのなか ま 4.未詳 5.サンゴイソギンチャク 6.未詳	1860刊行	リトグラフ、手彩色・紙	10.7×17.5	慶應義塾図書館
10	大野 麦風	『大日本魚類画集』 鯛	1937 (第1輯第1回)	木版・紙	39.0×27.0	姫路市立美術館
11		『大日本魚類画集』 伊勢海老	1937 (第1輯第3回)	木版・紙	27.0×39.1	姫路市立美術館
12		『大日本魚類画集』 飛魚	1938 (第1輯第6回)	木版・紙	27.0×39.1	姫路市立美術館
13		『大日本魚類画集』 メバル	1938 (第1輯第7回)	木版・紙	39.0×27.0	姫路市立美術館
14		『大日本魚類画集』 ニジマス	1938 (第1輯第10回)	木版・紙	27.0×39.1	姫路市立美術館
15		『大日本魚類画集』 カレイ	1938 (第1輯第11回)	木版・紙	39.1×27.0	姫路市立美術館
16		『大日本魚類画集』 真鯉	1938 (第2輯第1回)	木版・紙	27.0×39.1	姫路市立美術館
17		『大日本魚類画集』 ホオボオ	1939 (第2輯第10回)	木版・紙	27.0×39.1	姫路市立美術館
18		『大日本魚類画集』 フグ	1940 (第3輯第5回)	木版・紙	39.1×27.0	姫路市立美術館
19		『大日本魚類画集』 オコゼ	1940 (第3輯第7回)	木版・紙	27.0×39.1	姫路市立美術館
20		『大日本魚類画集』 ニシン	1941 (第4輯第5回)	木版・紙	27.0×39.1	姫路市立美術館
21		『大日本魚類画集』 シシガシラ	1941 (第4輯第11回)	木版・紙	27.0×39.1	姫路市立美術館
22		『大日本魚類画集』 ウナギ	1941 (第4輯第12回)	木版・紙	27.0×39.1	姫路市立美術館
23		『大日本魚類画集』 ワカサギ	1943 (第6輯第7回)	木版・紙	27.2×39.3	姫路市立美術館
24		『大日本魚類画集』 貝類	1944 (第6輯第12回)	木版・紙	27.1×39.1	姫路市立美術館
25	牧野 四子吉	アカアマダイ アカタチ チカメキントキ クルマダイ アカイサキ(メス) ルリハタ クエ キジハタ フエフキダイ イトヨリダイ コショウダイ ドロメ		水彩・紙	5.5 ×12.0 5.5 ×12.0 5.5 ×8.0 6.0 ×8.0 6.0 ×10.5 6.0 ×10.5 6.5 ×12.0 6.5 ×11.0 6.5 ×12.0 6.5 ×12.0 6.5 ×12.0 6.5 ×12.0	(有)アトリエまきの

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
26		クラゲダコ ミズダコ ワモンダコ コブシメ ヒラタブンブク ホウキムシ ムラサキクルマナマコ フサコケムシ アメフラシ シャミセンガイ		水彩・紙	12.0×7.5 12.0×9.5 12.0×10.5 12.0×11.0 6.5×10.0 6.5×10.0 6.5×10.0 8.0×13.0 8.0×13.0 8.0×13.0	(有)アトリエまきの
27		『ジャポニカ大日本百科事典』	1974刊行	水彩・紙	33.5×35.0	(有)アトリエまきの
28		『ジャポニカ大日本百科事典』	1974刊行	水彩・紙	33.0×35.0	(有)アトリエまきの
29		ニホンヒキガエル		水彩・紙	19.0×27.0 25.5×34.5	(有)アトリエまきの
30		ニホンヒキガエル		水彩・紙	32.0×24.0	(有)アトリエまきの
31		ジムグリ ニホンマムシ		水彩・紙	24.5×34.5 26.0×33.5	(有)アトリエまきの
32		ニホントカゲ カナヘビ		水彩・紙	25.0×35.5 24.5×32.5	(有)アトリエまきの
33		チゴハヤブサ		水彩・紙	37.0×28.0	(有)アトリエまきの
34		ホトトギス ドンパ アリスイ オーストーンオオアカゲラ ノグチゲラ キタタキ ミユビゲラ ヤマゲラ クマゲラ カラフトシマフクロウ オオアカゲラ ワシミズク		水彩・紙	6.0×8.0 9.0×10.0 8.0×6.0 12.0×9.0 8.0×6.0 8.0×6.0 12.0×9.0 8.0×6.0 8.0×6.0 12.0×9.0 12.0×9.0 12.0×9.0	(有)アトリエまきの
35		『自然手帖』表紙 スズメ	1998刊行	水彩・紙	40.0×31.0	(有)アトリエまきの
36		アイアイ インドリ スレンダーロリス スローロリス メガネザル ワオレムール(ワオキツネザル) タラポアン ウーリーモンキー		水彩・紙	9.5×8.5 8.0×7.5 8.0×11.5 8.0×8.0 11.5×7.5 8.0×7.0 8.0×7.5 8.0×6.5	(有)アトリエまきの
37		『自然手帖』表紙 ノウサギ ロップイヤー ジャックウサギ キュウシュウノウサギ トウホクノウサギ ユキウサギ(夏毛、冬毛)	1998刊行	水彩・紙	22.0×29.0 6.5×8.5 6.5×6.5 7.8×7.0 7.8×10.5	(有)アトリエまきの
38		ムササビ		水彩・紙	37.0×25.5	(有)アトリエまきの
39		ウマ(ハクニー種) ウマ(ブルトン種) クアッガ ヤマシマウマ アメリカバク スマトラサイ バビルーサ カワイノシシ モリイノシシ		水彩・紙	7.5×8.0 7.5×10.0 7.0×8.0 7.0×8.0 7.0×8.0 7.0×9.0 7.0×9.5 7.0×8.0 7.0×9.5	(有)アトリエまきの
40		インドマメジカ ウマシカ オオツノジカ トナカイ ヘラジカ オカピ カリブー ニヤラ ヨツヅノレイヨウ		水彩・紙	6.0×7.5 8.0×7.5 8.5×8.5 8.5×8.5 7.5×9.5 6.0×6.0 7.5×9.5 8.0×8.5 8.0×8.5	(有)アトリエまきの

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
41		『ピアンキのこども動物記』 「赤いおかのチック」扉絵 かわいそうなかっこう ありのぼうけん	1970刊行	水彩・紙	22.5×18.0 22.5×18.0	(有)アトリエまきの
42		メガネウラ(化石種) ミンミンゼミ ヒグラシ ツクツクボウシ クマゼミ ヤマトヒラタアブ オオハナアブ シマハナアブ クロハラヒメバチ セグロアシナガバチ		水彩・紙	9.0 ×10.5 10.0×9.0 10.0×9.0 9.5 ×11.5 9.5 ×22.0 12.0×19.0 12.0×19.0 10.0×14.0 12.0×19.0	(有)アトリエまきの
42		メガネウラ(化石種) ミンミンゼミ ヒグラシ ツクツクボウシ クマゼミ ヤマトヒラタアブ オオハナアブ シマハナアブ クロハラヒメバチ セグロアシナガバチ		水彩・紙	9.0 ×10.5 10.0×9.0 10.0×9.0 9.5 ×11.5 9.5 ×22.0 12.0×19.0 12.0×19.0 10.0×14.0 12.0×19.0	(有)アトリエまきの
43		ジョロウグモ		水彩・紙	30.0×22.0	(有)アトリエまきの
44		『少年少女ファール昆虫 記』 「たまころがしの観察」口絵 ねっしんに仕事をするタマコ ログシ	1969-70刊行	水彩・紙	20.0×14.5 13.0×10.5 10.8×10.8	(有)アトリエまきの
45		『少年少女ファール昆虫 記』 「せみとかまきりの観察」口絵 トネリコゼミを襲うオガミカマ キリ 「はちの生活」口絵	1969-70刊行	水彩・紙	20.0×14.5 20.0×15.0	(有)アトリエまきの
46		『少年少女ファール昆虫 記』 「ちょうとがの生活」扉絵	1969-70刊行	インク・紙	15.5×24.0 16.5×25.5	(有)アトリエまきの
47		『広辞苑』	1955初版刊行	インク・紙		(有)アトリエまきの
48	薮内正幸	『世界哺乳類図説』食虫目/ 皮翼目 オオミミハリネズミ	1962		11.0×17.0	薮内正幸美術館
49		『鳥類の図鑑』フクロウ類	1971		27.0×40.0	薮内正幸美術館
50		『いろいろな どうぶつ』表紙 トラ等	1971		24.0×39.0	薮内正幸美術館
51		『いろいろな どうぶつ』 サイ等	1971		23.0×52.0	薮内正幸美術館
52		『こどもらいぶらり』 タヌキ	1975		25.0×20.0	薮内正幸美術館
53		『こどもらいぶらり』 シマリス	1975		25.0×17.0	薮内正幸美術館
54		サントリー愛鳥キャンペーン 新聞広告	1976		57.0×44.0	薮内正幸美術館
55		キツネ、ライチョウ サントリー愛鳥キャンペーン 新聞広告	1977		43.0×59.0	薮内正幸美術館
56		イヌワシ、ウサギ サントリー愛鳥キャンペーン 新聞広告	1977		18.0×17.0	薮内正幸美術館
57		アゲハチョウ サントリー千歳工場用パネル 千歳付近で見られる野鳥	1977		60.0×54.0	薮内正幸美術館
58		ジャイアントパンダ	1979		12.0×26.0	薮内正幸美術館
59		『古脊椎動物図鑑』 ステゴサウルス	1979		13.0×21.0	薮内正幸美術館
60		『古脊椎動物図鑑』 ブラキオサウルス	1979		17.0×22.0	薮内正幸美術館
61		シマフクロウ	1989		48.0×35.0	薮内正幸美術館
62		『野や山にすむ動物たち』 イリオモテヤマネコ、ツシマヤ マネコ	1991		34.0×52.0	薮内正幸美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
63		『海にすむ動物たち』 スジイルカ、マイルカ	1994		34.0×52.0	蕨内正幸美術館
64		クマタカ	1996		37.0×29.0	蕨内正幸美術館
65		『鳥の観察図鑑』 ゴイサギ他	1998		34.0×52.0	蕨内正幸美術館
66	杉浦千里	シロスジカミキリ属の一種	1989	アクリル・ケント紙	22.5×13.5	杉浦千里の作品保存会
67		テナガゴガネ	1989頃	アクリル・ケント紙	23.0×30.0	杉浦千里の作品保存会
68		ヒシガニ	1990	アクリル・ケント紙	20.0×28.0	杉浦千里の作品保存会
69		ヤシガニ	1993	アクリル・ケント紙	33.0×38.0	杉浦千里の作品保存会
70		セミエビ	1994	アクリル・ケント紙	34.0×21.0	杉浦千里の作品保存会
71		アサヒガニ	1994	アクリル・ケント紙	25.0×21.0	杉浦千里の作品保存会
72		エンコウガニ	1995	アクリル・ケント紙	32.0×24.5	杉浦千里の作品保存会
73		ガザミ	1995頃	アクリル・ケント紙	25.0×32.0	杉浦千里の作品保存会
74		オカヤドカリ	1995頃	アクリル・ケント紙	11.5×10.0	杉浦千里の作品保存会
75		ニシキエビ(オス)	1996	アクリル・ケント紙	60.0×53.0	杉浦千里の作品保存会
76		シマイセエビ	1998	アクリル・ケント紙	76.0×30.0	杉浦千里の作品保存会
77		カブトガニ	2000	アクリル・ケント紙	44.0×21.0	杉浦千里の作品保存会
78		ゾウリエビ	2001	アクリル・ケント紙	23.0×28.5	杉浦千里の作品保存会
79	小林敬生	蘇生の刻ー白い朝92・5ー	1992	木口木版・紙(鏡貼り)	108.0×142.0	町田市立国際版画美術館
80		蘇生の刻ー群舞94・10Dー	1994	木口木版・紙(鏡貼り)	85.5×216.0	町田市立国際版画美術館
81	江本創	奇妙なキノコ 子囊菌門・担子菌門 Strange Mushrooms Ascomycota&Basidiomycota	2007	ミクストメディア	25.0×34.0×8.5	作家蔵
82		ドラゴン種の頭部骨格 爬虫綱トカゲ亜目 The Skulls Collection Reptilia:Sauria	2008	ミクストメディア	34.0×25.0×8.5	作家蔵
83		虫喰袋 双子葉植物綱ウツボカズラ目 Parvus dolus Magnoliopsida : Nepenthales	2009	ミクストメディア	42.0×25.0×8.5	作家蔵
84		竜 爬虫綱トカゲ亜目 Draconis folium Reptilia : Sauria	2010	ミクストメディア	52.0×37.0×8.5	作家蔵
85		竜(骨格) 爬虫綱トカゲ亜目 Dragon / Skeleton Reptilia : Sauria	2010	ミクストメディア	46.5×39.5×8.5	作家蔵
86		養亀 爬虫綱カメ目 Chinemys perizoma Reptilia : Cryptodira	2010	ミクストメディア	42.0×29.0×8.5	作家蔵
87		浜鮎 硬骨魚綱キンメダイ亜目 Beryx cilium Actinopterygii : Berycoidei	2010	ミクストメディア	25.0×42.0×8.5	作家蔵
88		海犀 硬骨魚綱トゲウオ目 Rhino pontus Actinopterygii : Gasterosteiformes	2010	ミクストメディア	25.5×42.0×8.5	作家蔵
89		道化師魚 硬骨魚綱スズキ亜目 Chaetodon gerronis Actinopterygii : Percoidei	2010	ミクストメディア	25.5×42.0×8.5	作家蔵
90		欧州人參 双子葉植物綱セリ目 Panax alraune Magnoliopsida : Apiales	2010	ミクストメディア	45.0×15.0×15.0	作家蔵
91		シーラカンスの一種 硬骨魚綱シーラカンス目 Latimeria paralichthys Osteichthyes : Coelacanthiformes	2011	ミクストメディア	25.5×42.0×8.5	作家蔵
92		シーラカンスの一種 硬骨魚綱シーラカンス目 Latimeria silurus Osteichthyes : Perciformes	2011	ミクストメディア	28.0×46.0×8.5	作家蔵

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
93		シーラカンスの一種 硬骨魚 綱シーラカンス目 Latimeria beryx Osteichthyes :Coelacanthiformes	2011	ミクストメディア	25.5×42.5×8.5	作家蔵
94		シーラカンスの一種 硬骨魚 綱シーラカンス目 Latimeria pterophyllum Osteichthyes :Coelacanthiformes	2011	ミクストメディア	38.0×26.5×8.5	作家蔵
95		シーラカンスの一種 硬骨魚 綱シーラカンス目 Latimeria japonicus Osteichthyes :Coelacanthiformes	2011	ミクストメディア	34.5×25.5×8.5	作家蔵
96		三葉虫の一種 三葉虫綱ブ ロエタス目 Endops monocauda Trilobita : Proetacea	2011	ミクストメディア	31.0×22.0×8.5	作家蔵
97		錨遍羅 条鰭綱ベラ亜目 Semicossyphus ancora Actinopterygii : Labroidei	2012	ミクストメディア	30.0×42.0×8.5	作家蔵
98		翼竜 爬虫綱翼竜目 Pteranodon longiceps Reptilia : Pterosauria	2012	ミクストメディア	53.5×46.0×8.5	作家蔵
99		花尾蜥蜴 爬虫綱トカゲ亜目 Lacerta floscauda Reptilia : Sauria	2012	ミクストメディア	46.0×28.0×8.5	作家蔵
100		牙蛙 両棲綱無尾目 Rana dentiscaninus Amphibia : Anura	2012	ミクストメディア	43.0×31.0×8.5	作家蔵
101		鰓蛙 両棲綱無尾目 Rana quadrbranchiae Amphibia : Anura	2012	ミクストメディア	43.0×31.0×8.5	作家蔵
102		未確認人型生物 分類不可 Unidentified Humanoid Unclassifiable	2012	ミクストメディア	45.0×15.0×15.0	作家蔵
103		恐竜 爬虫綱恐竜上目 Allosaurus maximus Reptilia : Dinosauria	2013	ミクストメディア	54.0×41.0×8.5	作家蔵
104	大森暁生	ぬけない棘のエレファント	1999	楠、漆、彩色	255.0×210.0× 205.0	作家蔵
105		Butterfly in the frame (Type-A)	2004	ブロンズ、ステンレス、漆、 アガチス	35.0×35.0×7.5	作家蔵
106		Butterfly in the frame (Type-B)	2004	ブロンズ、ステンレス、漆、 アガチス	35.0×35.0×7.5	作家蔵
107		Swan in the frame (Type-A)	2006	檜、漆、彩色、ステンレス、 アガチス、銅	70.0×130.0×67.0	作家蔵
108		Swan in the frame (Type-B)	2006	檜、漆、彩色、ステンレス、 アガチス、銅	70.0×130.0×67.0	作家蔵
109		Swan in the frame (Type-B)	2006	檜、漆、彩色、ステンレス、 アガチス、銅	70.0×130.0×67.0	作家蔵
110		Swallow in the frame (Type- A)	2006	ブロンズ、銀箔、ステンレ ス、漆、アガチス	45.0×35.0×13.0	作家蔵
111		Swallow in the frame (Type- B)	2006	ブロンズ、銀箔、ステンレ ス、漆、アガチス	45.0×35.0×13.0	作家蔵
112		Bat in the frame (Type-A)	2007	ブロンズ、ステンレス、漆、 アガチス	52.0×32.0×12.0	作家蔵
113		Bat in the frame (Type-B)	2007	ブロンズ、ステンレス、漆、 アガチス	52.0×32.0×12.0	作家蔵
114		愚かな装飾ーPrincess gerenukー	2008	楠、漆、銅、彩色	77.0×38.0×47.0	新生堂蔵
115		月夜のJackalope	2010	ブロンズ	28.0×18.5×20.0	作家蔵
116		Glorious images (Type-A)	2012	ブロンズ、ステンレス、漆、 アガチス	42.0×32.0×7.0	作家蔵
117		Glorious images (Type-B)	2012	ブロンズ、ステンレス、漆、 アガチス	42.0×32.0×7.0	作家蔵
118		タランチュラの灯華	2012	ブロンズ、電飾機器	17.0×17.0×7.0	作家蔵
119		上弦のテーブル - Blacktip -	2013	檜、樺、漆、彩色、ガラス、 脚用金具	86.0×157.0×72.0	新生堂蔵

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
120		下弦のテーブル - Blacktip -	2013	檜、樺、漆、彩色、ガラス、脚用金具	86.0×157.0×72.0	新生堂蔵
121		Eagle's hearts (Type-A)	2014	ブロンズ、鉄	56.0×45.0×22.0	作家蔵
122		Eagle's hearts (Type-B)	2014	ブロンズ、鉄	56.0×48.0×24.0	作家蔵
123		吸血夜 (Type-A)	2014	ブロンズ、鉄	45.0×34.0×20.0	作家蔵
124		吸血夜 (Type-B)	2014	ブロンズ、鉄	48.0×36.0×20.0	作家蔵
125	深堀隆介	金魚酒 七葉	2011	木曽桧一合枿、超難黄変エポキシ樹脂、アクリル絵具	5.5×8.5×8.5	個人蔵
126		三ツ柑	2012	ロンドンで購入したタバコ缶、超難黄変エポキシ樹脂、アクリル絵具	2.5×11.2×8.5	個人蔵
127		金魚酒 新夕	2012	木曽桧一合枿、超難黄変エポキシ樹脂、アクリル絵具	5.5×8.5×8.5	個人蔵
128		No.8	2012	子供用アルミのお弁当箱、超難黄変エポキシ樹脂、アクリル絵具	2.8×9.7×13.8	個人蔵
129		花籠	2013	中川清司氏(人間国宝)の小ぶりの桶、超難黄変エポキシ樹脂、アクリル絵具	6.0×18.0×18.0	個人蔵
130	新野洋	2013.2.20, 代官山(2点組+解説書)	2013	アクリル、ポリウレタン樹脂、エポキシ樹脂、真鍮	青:6.0×4.5×10.0 赤:10.0×5.0×8.0	作家蔵
131		生命の房(7点組)	2014	アクリル、ポリウレタン樹脂、ステンレス	最大直径38.0 最小直径14.0	作家蔵
132	富田伊織	透明標本 キンギョ類	2012	キンギョ類、グリセリン、標本瓶	20.0×9.5×9.5	作家蔵
133		透明標本 ハリセンボン	2012	ハリセンボン、グリセリン、標本瓶	17.5×9.5×9.5	作家蔵
134		透明標本 タチウオ	2012	タチウオ、グリセリン、標本瓶	26.7×7.5×7.5	作家蔵
135		透明標本 アオリイカ	2013	アオリイカ、グリセリン、標本瓶	25.5×10.0×10.0	作家蔵
136		透明標本 アカエイ	2013	アカエイ、グリセリン、標本瓶	29.0×11.5×11.5	作家蔵
137		透明標本 オオウミウマ	2013	オオウミウマ、グリセリン、標本瓶	11.5×4.5×4.5	作家蔵
138		透明標本 ホッコクアカエビ	2013	ホッコクアカエビ、グリセリン、標本瓶	18.5×6.5×6.5	作家蔵
139		透明標本 ハコフグ	2013	ハコフグ、グリセリン、標本瓶	11.5×6.5×6.5	作家蔵
140		透明標本 コバンザメ	2013	コバンザメ、グリセリン、標本瓶	27.5×6.5×6.5	作家蔵
141		透明標本 ムツゴロウ	2013	ムツゴロウ、グリセリン、標本瓶	21.7×7.5×7.5	作家蔵
142		透明標本 ハナミノカサゴ	2013	ハナミノカサゴ、グリセリン、標本瓶	17.5×9.5×9.5	作家蔵
143		透明標本 キイロハギ	2013	キイロハギ、グリセリン、標本瓶	13.5×8.0×8.0	作家蔵
144		透明標本 ダルマオコゼ	2014	ダルマオコゼ、グリセリン、標本瓶	20.0×9.5×9.5	作家蔵
145	ヤマダテルオ	オオルリ	2010	ジェルトン、真鍮、銅線、綿糸・アクリル彩色	47.0×20.0×22.0	作家蔵
146		カケス	2010	ジェルトン、真鍮、銅線、和紙・アクリル彩色	35.0×20.0×12.0	作家蔵
147		キビタキ	2012	ジェルトン、真鍮、銅線、綿糸・アクリル彩色	34.0×15.0×13.0	作家蔵
148	飯島正広	群馬の森で生きる動物たち				
		アカネズミ	2011、春、水上	インクジェットプリント・紙	30.9×43.2	作家蔵
149		ツキノワグマ(ブナ)	2005、春、水上	インクジェットプリント・紙	28.7×43.2	作家蔵
150		ツキノワグマ(サクラ)	1980、春、水上	インクジェットプリント・紙	26.9×43.2	作家蔵
151		アナグマ(田)	2012、春、水上	インクジェットプリント・紙	28.3×43.2	作家蔵
152		タヌキとアオダイショウ	2005、夏、水上	インクジェットプリント・紙	32.8×43.2	作家蔵
153		コウモリ飛翔	2011、夏、沼田	インクジェットプリント・紙	35.6×39.4	作家蔵
154		ムササビ(親子)	2008、夏、沼田	インクジェットプリント・紙	31.3×43.2	作家蔵
155		アズマモグラ	2009、夏、水上	インクジェットプリント・紙	27.2×43.2	作家蔵
156		ヤマネ	2008、秋、水上	インクジェットプリント・紙	43.2×28.8	作家蔵
157		カモシカ	2013、秋、水上	インクジェットプリント・紙	34.1×43.2	作家蔵
158		アナグマ(冬眠前)	2004、秋、白根	インクジェットプリント・紙	30.6×43.2	作家蔵

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
159		ハクビシン	2011、冬、水上	インクジェットプリント・紙	26.5×43.2	作家蔵
160		ホンドタヌキとホンドキツネ	2011、冬、水上	インクジェットプリント・紙	28.8×43.2	作家蔵
161		ウサギコウモリ	2010、冬、水上	インクジェットプリント・紙	35.6×40.4	作家蔵
162		ニホンザル	2011、冬、水上	インクジェットプリント・紙	35.6×37.0	作家蔵
163	佐藤成史	孀恋村心象、キャベツ畑の 向こうがわ 小さな生きものた ちの世界				
		孀恋村のキャベツ畑	2012	インクジェットプリント・紙	43.2×28.8	作家蔵
164		野地平	2012	インクジェットプリント・紙	43.0×32.4	作家蔵
165		モウセンゴケ	2012	インクジェットプリント・紙	43.2×32.4	作家蔵
166		水源地付近の流れ	2006	インクジェットプリント・紙	32.4×43.2	作家蔵
167		トワダカワゲラ(上)と ノギカワゲラの仲間の幼虫	2013	インクジェットプリント・紙	43.2×32.4	作家蔵
168		ハコネサンショウウオの幼生	2010	インクジェットプリント・紙	43.2×28.8	作家蔵
169		ハコネサンショウウオの成体	2006	インクジェットプリント・紙	32.4×43.2	作家蔵
170		クジャクチョウ	2010	インクジェットプリント・紙	28.8×43.2	作家蔵
171		ヤマアカガエル	2010	インクジェットプリント・紙	28.8×43.2	作家蔵
172		アオダイショウ	2010	インクジェットプリント・紙	32.4×43.2	作家蔵
173		ムラサキトビケラの幼虫	2010	インクジェットプリント・紙	43.2×28.8	作家蔵
174		ミヤマトリカブト	2006	インクジェットプリント・紙	28.8×43.2	作家蔵
175		孀恋村の溪流	2010	インクジェットプリント・紙	28.8×43.2	作家蔵
176		イワナ	2013	インクジェットプリント・紙	32.4×43.2	作家蔵
177		ヤマメ	2014	インクジェットプリント・紙	32.4×43.2	作家蔵
178		ヤマメの赤ちゃん	2009	インクジェットプリント・紙	32.4×43.2	作家蔵

◎印刷物・会場作成物

・図録 A4判変形(21.0×29.7)64頁

内容:

ごあいさつ

「夏休み！いきもの図鑑」の開催によせて(長谷川義和)

図版

第Ⅰ章 観察する眼、いきものへの愛情

[コラム]稀代の動物画家 藪内正幸(藪内竜太)

第Ⅱ章 リアリティとファンタジー

第Ⅲ章 いきもの図鑑 in ぐんま

作家による作品解説(飯島正広、佐藤成史)

夏休み！いきもの図鑑(神尾玲子)

作家略歴

主要参考文献

作品リスト

編集:神尾玲子(群馬県立館林美術館学芸員)

デザイン:中村遼一、川添英昭(美術出版社 デザインセンター)

制作:美術出版社 デザインセンター

発行日:2014年7月18日

発行:群馬県立館林美術館

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド A4二つ折り

・パネル

挨拶1枚、章解説3枚

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・おおたタイムス

7.26

「夏休み！いきもの図鑑」*

・産経新聞

8.7

「夏休み！いきもの図鑑」〈アート〉*

12.25

「保守化…目立つ工芸的作品」〈文化〉

・上毛新聞

7.29

「透明標本 ぷにゅぷにゅ 富田さん体験型講座 生物に触れて学ぶ」*

・上毛新聞シャトル

8.8

「館林美術館 夏休み！いきもの図鑑」④ 牧野四子吉、藪内正幸 精緻な挿絵の先駆者」〈GMATだより〉*(学芸員 神尾玲子)

8.9

「館林美術館 夏休み！いきもの図鑑」⑤ 杉浦千里、大野麥風 写真を超える力強さ」〈GMATだより〉*(学芸員 神尾玲子)

8.12

「館林美術館 夏休み！いきもの図鑑」⑥ 江本創、富田伊織の標本 非日常との交流促す」〈GMATだより〉*(学芸員 神尾玲子)

・読売新聞

8.17

「この生物 本物？作品？」*

[定期刊行物]

・月刊アートコレクターズ

10月号

「大森暁生(彫刻家)×小菅正夫(北海道大学客員教授、旭山動物園元園長)」〈特別対談〉*

・怪

vol.0042

「夏休み！いきもの図鑑」展へようこそ」〈日本全国ふるさと妖怪だより〉*(学芸員 神尾玲子)

・美連協ニュース

11月号

「夏休み！いきもの図鑑」関連事業 富田伊織ワークショップ「透明標本のひみつ—実物にふれてみよう」〈ワークショップ〉*(教育普及係主幹 齊藤由紀子)

[その他]

・群馬県立女子大学文学部美術史学科アートマネジメントゼミ美術館連携事業記録

2015年3月18日

「群馬県立館林美術館 2014年8月23日(土) みんなで謎のいきもの図鑑をつくろう」

◎放送

[テレビ]

・群馬テレビ

8.21

「夏休み！いきもの図鑑」〈ニュースeye8〉

・NHK

8.22

「夏休み！いきもの図鑑」〈ほっとぐんま640〉

[ラジオ]

・FM太郎

7.15

「夏休み！いきもの図鑑」関連事業「アーティストとお話し会① いきものの秘密を教えて」のお知らせ〈ぐんまいいき情報〉

7.17

「富田伊織ワークショップ「透明標本のひみつー実物に触れてみよう」のお知らせ」〈ぐんまいいき情報〉

7.31

「企画展示「夏休み！いきもの図鑑」のお知らせ」〈ぐんまいいき情報〉

8.21

「ワークショップ「みんなで謎のいきもの図鑑をつくろう」のお知らせ」〈ぐんまいいき情報〉

・FM群馬

7.30

「企画展示「夏休み！いきもの図鑑」のお知らせ」〈ぐんま情報トッピング〉

8.19

「企画展示「夏休み！いきもの図鑑」のお知らせ」〈ぐんま情報トッピング〉

◎関連事業

・ワークショップ

7.27

富田伊織ワークショップ「透明標本のひみつー実物に触れてみよう」

講師：富田伊織(出品作家)

8.23

「みんなで謎のいきもの図鑑をつくろう」

協力：群馬県立女子大学 奥西ゼミ

・アーティストとお話し会

7.21

「いきものの秘密を教えて！」

講師：飯島正広、佐藤成史(ともに出品作家)、長谷川善和(群馬県立自然史博物館名誉館長)

8.3

「創作の秘密を教えて！」

講師：江本創、大森暁生、深堀隆介、新野洋(ともに出品作家)



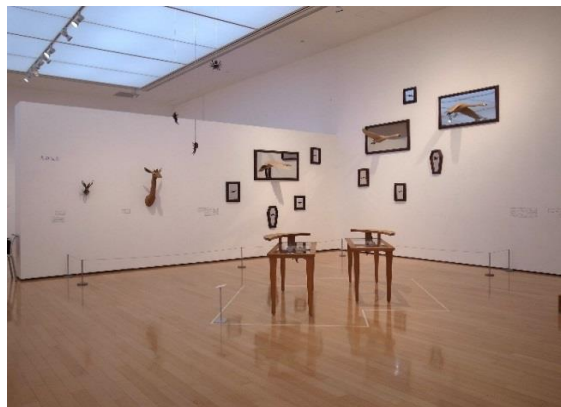
展示室2



展示室3



展示室4



展示室4

3. ペルシアのきらめき ― ペルセポリスとシルクロードの美術

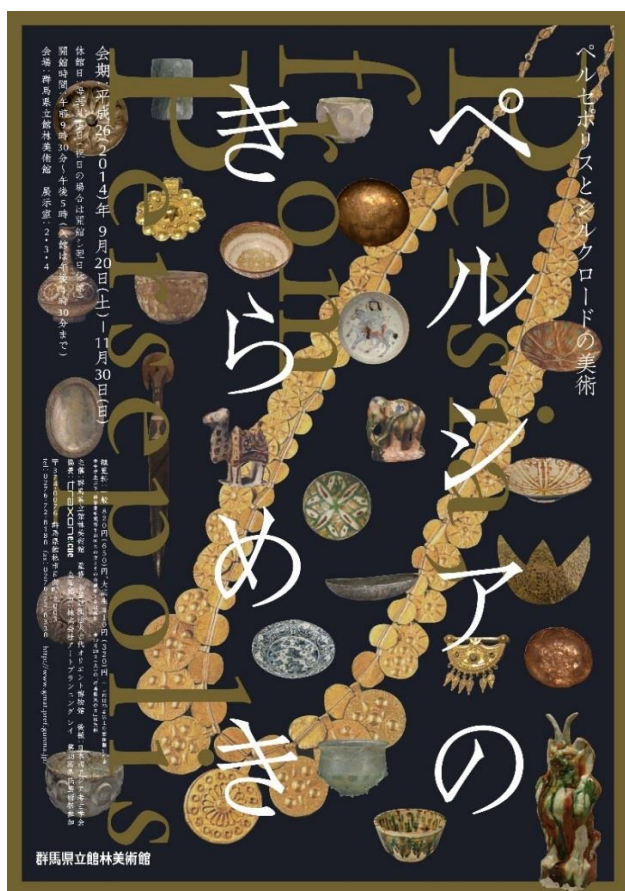
会期 平成26年9月20日(土)～11月30日(日)
 会場 展示室2、3、4
 主催 群馬県立館林美術館
 監修 公益財団法人古代オリエント博物館
 後援 日本西アジア考古学会
 協賛 トラクソン
 企画協力 株式会社アートプランニング レイ
 観覧料 一般820(650)円 大高生410(320)円
 ()内は、20名以上の団体割引料金

東西美術交渉の曲線を手繰り寄せた。

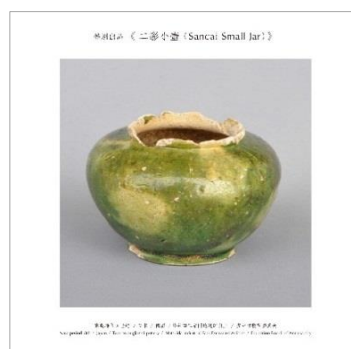
また、群馬県松井田工業団地遺跡出土の《奈良二彩小壺》を特別に展示することで、唐からペルシア、そして東国の群馬へと伸びた東西文化のひろがりについても検証することができた。

いにしえより、東西交渉のかなめとして栄えたペルシア。現在のイランにあたる地域であるペルシアの美術を含む、古代中東美術、いわゆるオリエントの美術は「煌めき、輝き」に満ちている。

本展では東西交流、そして文化の華と言われたカットガラス碗と陶磁器の至宝と言われるラスター彩を中心にガラス、陶器、金銀器・コイン、装身具などに焦点を当て、ヨーロッパ、オリエント、中国、そして日本へと、時空を超え無軌道に走り回った



ポスター



パンフレット



ジュニアガイド

出品目録

ペルセポリス

No.	作者名	作品名	時代	地域	材質・技法	所蔵
1		ダレイコス金貨	アケメネス朝 前6-前4世紀	イラン	金	個人蔵
2		シグロス銀貨	アケメネス朝 前6-前4世紀	イラン	銀	個人蔵
3		アレクサンドロス大王銀貨	前4世紀	マケドニア	銀	個人蔵
4		金製羊頭装飾腕輪	アケメネス朝 前6-前4世紀	イラン	金	古代オリエント博物館
5		アキナケスの鎧	アケメネス朝 前5世紀	イラン	象牙	平山郁夫 シルクロード美術館
6		剣	前11世紀初頭	イラン	青銅、石	平山郁夫 シルクロード美術館
7		ペルセポリス宮殿レリーフ (拓影)	1960年代	イラン	紙、墨	個人蔵
8		ペルセポリス宮殿レリーフ (拓影)	1960年代	イラン	紙、墨	個人蔵
9		ペルセポリス宮殿レリーフ (拓影)	1960年代	イラン	紙、墨	個人蔵
10		ペルセポリス宮殿レリーフ (拓影)	1960年代	イラン	紙、墨	個人蔵
11		ペルセポリス宮殿レリーフ (拓影)	1960年代	イラン	紙、墨	個人蔵
12		ペルセポリス宮殿レリーフ (拓影)	1960年代	イラン	紙、墨	個人蔵
13		ペルセポリス宮殿レリーフ (拓影)	1960年代	イラン	紙、墨	個人蔵
14		ペルセポリス宮殿レリーフ (拓影)	1960年代	イラン	紙、墨	個人蔵
15	平山郁夫	ペルセポリスの遺跡	1995年		紙、ペン、水彩	平山郁夫 シルクロード美術館
16	平山郁夫	王宮侍女浮彫	1995年		紙、ペン、水彩	平山郁夫 シルクロード美術館
17	平山郁夫	ペルセポリス全景 (スケッチブックより)	1973年		紙、ペン、水彩	平山郁夫 シルクロード美術館

ガラスの器

18		碗(付:金製器台)	前3世紀	イタリア(伝カノッサ 古墳出土)	ガラス、金	個人蔵
19		突起装飾碗	パルティア朝 1-3世紀	イラン	ガラス	個人蔵
20		円形切子装飾碗	ササン朝 5-7世紀	イラン	ガラス	個人蔵
21		円形切子装飾碗	ササン朝 5-7世紀	イラン	ガラス	個人蔵
22		浮出し円形切子碗	ササン朝 6世紀	イラン	ガラス	個人蔵
23		二重円圏文碗	ササン朝 6世紀	イラン	ガラス	平山郁夫 シルクロード美術館
24		水瓶	パルティア朝 1-3世紀	イラン	ガラス	個人蔵
25		水瓶	パルティア朝 1-3世紀	イラン	ガラス	個人蔵
26		リブ付瓶	パルティア朝 1-3世紀	イラン	ガラス	個人蔵
27		リブ付水碗	パルティア朝 1-3世紀	イラン	ガラス	個人蔵
28		水色リブ付碗	パルティア朝 1-3世紀	イラン	ガラス	個人蔵
29		押し型文杯	ササン朝 4-6世紀	イラン	ガラス	個人蔵
30		リブ付小壺	ササン朝 4-6世紀	イラン	ガラス	個人蔵
31		水瓶(ガラス製水瓶)	7-9世紀頃	イラン	ガラス	個人蔵

貴金属容器

32		銀製円文装飾壺	前7-前6世紀	イラン	銀	古代オリエント博物館
----	--	---------	---------	-----	---	------------

No.	作者名	作品名	時代	地域	材質・技法	所蔵
33		アンフォラ形リュトン	アケメネス朝 前6-前4世紀	イラン	銀	個人蔵
34		銀製フィアラ杯	アケメネス朝 前6-前4世紀	イラン	銀	古代オリエント博物館
35		銀製ギリシア風碗	前3-後1世紀	バクトリア	銀	法人蔵
36		條文杯	バルティア朝 前2-後2世紀	イラン	銀	個人蔵
37		ヘラクレス立像	バルティア朝 前1-後2世紀	イラン	銀	個人蔵
38		ヘラクレス立像	1世紀	地中海沿岸域	青銅	個人蔵
39		銀製舟形杯	ササン朝 5-6世紀	イラン	銀	個人蔵
40		鳥文舟形杯	ササン朝 5-6世紀	イラン	銀	個人蔵
41		鳥文台付杯	ササン朝 5-6世紀	イラン	銀、鍍金	個人蔵
42		馬印文杯	ササン朝 5-6世紀	イラン	銀、鍍金	個人蔵
43		銀製台付杯	ササン朝 5-7世紀	イラン	銀	古代オリエント博物館
44		女神文長皿	ササン朝 5-7世紀	イラン	銀、鍍金	古代オリエント博物館
45		祝宴図鍍金銀製杯	7-8世紀	イラン	銀、鍍金	平山郁夫 シルクロード美術館
46		銀製鉢	3世紀	イラン	銀	個人蔵
陶器						
47		ラスター彩人物文大皿	セルジューク朝 12世紀	イラン	陶器	個人蔵
48		ラスター彩人物文鉢	セルジューク朝 12世紀	イラン	陶器	個人蔵
49		ラスター彩人物文把手付 水注	セルジューク朝 12-13世紀	イラン	陶器	四国民家博物館
50		ラスター彩駱駝	セルジューク朝 12-13世紀	イラン	陶器	四国民家博物館
51		ラスター彩人物形水注	セルジューク朝 12-13世紀	イラン	陶器	四国民家博物館
52		ラスター彩壺口瓶	セルジューク朝 12-13世紀	イラン	陶器	四国民家博物館
53		ラスター彩人物文鉢	セルジューク朝 12-13世紀	イラン	陶器	四国民家博物館
54		ラスター彩鳥文鉢	セルジューク朝 12-13世紀	イラン	陶器	四国民家博物館
55		ラスター彩倣文字文鉢	セルジューク朝 12-13世紀	イラン	陶器	四国民家博物館
56		ラスター彩動物文鉢	セルジューク朝 12-13世紀	イラン	陶器	四国民家博物館
57		ラスター彩アラバスク文把 手壺	セルジューク朝 12-13世紀	イラン	陶器	四国民家博物館
58		ラスター彩聖樹文星形タイ ル	セルジューク朝 13世紀	イラン	陶器	四国民家博物館
59		ラスター彩草花文星形タイ ル	セルジューク朝 13世紀	イラン	陶器	四国民家博物館
60		多彩刻線鱗文大鉢	アッバース朝 9-10世紀	イラン	陶器	個人蔵
61		多彩釉鉢	アッバース朝 9-10世紀	イラン	陶器	個人蔵
62		多彩釉刻線花文鉢	ブワイ朝 10-12世紀	イラン	陶器	個人蔵
63		多彩釉刻線文鉢	ブワイ朝 10-12世紀	イラン	陶器	個人蔵
64		藍三彩象	唐 7-8世紀	中国	陶器	個人蔵
65		三彩扁壺	唐 7-8世紀	中国	陶器	個人蔵
66		二彩壺	唐 7-8世紀	中国	陶器	個人蔵
67		三彩壺	唐 7-8世紀	中国	陶器	個人蔵

No.	作者名	作品名	時代	地域	材質・技法	所蔵
68		三彩壺	唐 7-8世紀	中国	陶器	個人蔵
69		三彩碗	唐 7-8世紀	中国	陶器	個人蔵
70		三彩枕	唐 7-8世紀	中国	陶器	個人蔵
71		三彩枕	唐 7-8世紀	中国	陶器	個人蔵
72		鎮墓獣	唐 7-8世紀	中国	陶器	個人蔵
73		ミナイ手色絵人物坐像文鉢	セルジューク朝 12-13世紀	イラン	陶器	個人蔵
74		ミナイ手人物・聖樹文小鉢	セルジューク朝 12-13世紀	イラン	陶器	個人蔵
75		ミナイ手騎馬人物文小鉢	セルジューク朝 12-13世紀	イラン	陶器	個人蔵
76		白地藍彩陶皿	サファヴィー朝 17世紀	イラン	陶器	個人蔵
77		白地藍彩陶皿	サファヴィー朝 17世紀	イラン	陶器	個人蔵
78		染付鳳凰草花文皿	明 15-16世紀	中国	陶器	個人蔵

加藤卓男とシルクロード

79	加藤卓男	ラスター彩花鳥文輪花鉢	1987年		陶器	幸兵衛窯
80	加藤卓男	三彩鳥文八方盤	1990年		陶器	幸兵衛窯
81	加藤卓男	青釉銀華方壺	1975年		陶器	幸兵衛窯

印章・装身具・ガラス珠・コイン

82		円筒印章	前3200-前2800年頃	イラン	緑長石	個人蔵
83		スタンプ印章	3-7世紀	イラン	石	個人蔵
84		金製円盤装飾首飾り	前10世紀頃	イラン	金	個人蔵
85		金製首飾り	パルティア朝 1-3世紀	イラン	金	個人蔵
86		金製胸飾り	7-8世紀	イラン	金	個人蔵
87		金製双渦文ビーズ	前8世紀	イラン	金	古代オリエント博物館
88		金粒装飾付ペンダント	アケメネス朝 前6-前4世紀	イラン	金、縞瑪瑙	古代オリエント博物館
89		金製腕輪	アケメネス朝 前5-前4世紀	イラン	金	個人蔵
90		金製耳飾り	パルティア朝 前3-後3世紀頃	イラン	金	個人蔵
91		指輪	ササン朝 4-7世紀	イラン	金、青銅、ガラス、縞瑪瑙	個人蔵
92		ガラス珠首飾り	パルティア朝 前3-後3世紀頃	イラン	ガラス	個人蔵
93		ガラス珠	パルティア朝 前3-後3世紀頃	イラン	ガラス	個人蔵
94		パルティア銀貨	パルティア朝 前3-後3世紀頃	イラン	銀	個人蔵
95		ササン朝銀貨	ササン朝 3-7世紀	イラン	銀	個人蔵 古代オリエント博物館
96		イスラム金貨	アッバース朝 サーマン朝 サファヴィー朝	イラン	金	個人蔵
参考田展		金製装身具一式		イラン	金	個人蔵
参考田展		ペルシア絨毯		イラン	シルク	個人蔵

特別展示

特別田展		二彩小壺	奈良時代 8世紀	日本(松井田工業団地遺跡出土)	陶器	安中市教育委員会
------	--	------	-------------	-----------------	----	----------

◎印刷物・会場作成物

・図録 A5変形(20.0×20.0cm)108頁

内容:

ごあいさつ

きらめきのペルシア美術(宮下佐江子)

図版

ペルセポリス

ガラスの器

貴金属容器

陶器

加藤卓男とシルクロード

印章・装身具・ガラス珠・コイン

ペルシア略年表

出品リスト／解説

監修:公益財団法人 古代オリエント博物館

執筆:宮下佐江子(古代オリエント博物館)、津村眞輝子(古代オリエント博物館)

撮影:セキフォトス

編集:アートプランニングレイ

制作:印象社

発行:アートプランニングレイ

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド 蛇腹折り、89.6×18.2cm(仕上がりサイズB6)

・パンフレット 18.0×18.0cm

「特別出品《二彩小壺(Sancai Small Jar)》」

内容:

図版

松井田の壺葬論(谷内克聡)

二彩小壺・実測図

執筆:谷内克聡(群馬県立館林美術館学芸員)

翻訳:スタンリー・N・アンダソン

・パネル

挨拶1枚、章解説5枚、年表1枚、写真7枚、平面図1枚

・会場配布用作品リスト、作品展示レイアウト

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・朝日新聞

10.22

「ペルシアのきらめき・ペルセポリスとシルクロードの美術」〈群馬マリオン〉

・おおたタイムス

9.27

「ペルシアのきらめき 県立館林美術館」*

・産経新聞

10.3

「企画展示「ペルシアのきらめき」〈開催中です〉

・下野新聞

11.13

「繁栄と東西文化 ペルシアの美術 群馬県立館林美術館 30日まで企画展」*

・上毛新聞シャトル

9.19

「ガラス器、彩陶、金銀器、コイン… オリエント美術の魅力」

10.20

「ペルシアのきらめき④ 天平の輝き残す逸品」*(学芸員 谷内克聡)

10.21

「ペルシアのきらめき⑤ 王から賜った上級品」*(古代オリエント博物館研究員 宮下佐江子)

10.22

「ペルシアのきらめき⑥ 正倉院白瑠璃瓶の「本家」」*(古代オリエント博物館研究員 宮下佐江子)

・東京新聞

10.1

「ペルシアの文化交流紹介 安中で出土の小壺など展示 県立館林美術館企画展」*

・群馬よみうりビバ! アミーゴ

9.19

「ペルシアのきらめき〜ペルセポリスとシルクロードの美術」

[定期刊行物]

・月刊アートコレクターズ

11月号

「ペルシアのきらめき」〈展覧会のご案内〉*

・美術屋 百兵衛

No.31

「ペルシアのきらめき」〈展覧会情報〉

・渡良瀬通信

10月号

「円形切子装飾碗」〈誌上美術館〉*(学芸員 谷内克聡)

◎放送

[テレビ]

・NHK

9.19

「ペルシアのきらめき」〈ほっとぐんま640〉

〔ラジオ〕

・FM太郎

9.18

「企画展示「ペルシアのきらめき」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

10.2

「たてび☆びじゅつ部「きらきらコインを作ろう」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

10.8

「企画展示「ペルシアのきらめき」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

・FM群馬

11.6

「たてび☆びじゅつ部「きらきらコインを作ろう」〈情報トッピング〉

◎関連事業

・講演会

9.28

「意外に似ている！古代ペルシアと日本の文化」

講師：春田晴郎（東海大学文学部教授）

・ギャラリートーク

9.25

「「ペルシアのきらめき」展の見どころ」

講師：谷内克聡（当館学芸員）

10.12

「ガラスのきらめき—ペルシアと正倉院」

講師：宮下佐江子（古代オリエント博物館研究員）

11.1

「ペルシアの貴金属とコイン」

講師：津村眞輝子（古代オリエント博物館研究部長）

11.14

「セラミックロードー特別出展《奈良二彩小壺》（群馬県松井田工業団地遺跡出土）を中心に」

講師：谷内克聡

11.26

「ペルシア陶器と加藤卓男」

講師：佐々木正直（当館館長）

・たてび☆びじゅつ部

10.5、11.16

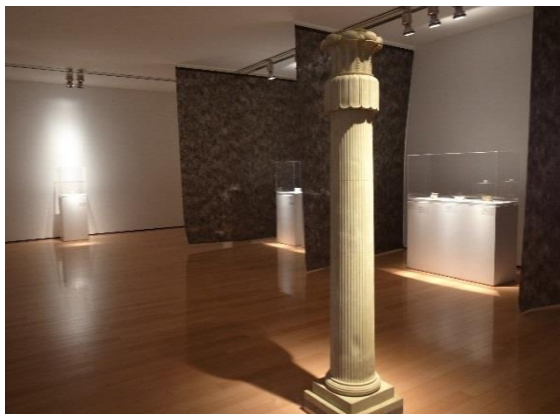
「きらきらコインを作ろう」



展示室2



展示室2



展示室3



展示室4

4. ダイアローグー対話するアート

会期 平成26年12月20日(土)～平成27年4月5日(日)
会場 展示室2、3、4
主催 群馬県立館林美術館
協力 パレ・デ・パリ、ブザンソン美術高等学院大学
観覧料 一般300(240)円 大高生150(120)円
()内は、20名以上の団体割引料金

芸術作品は、アーティストの孤独な制作作業から生み出されるものと思われがちである。しかし、新たな創造は、しばしば人や物事の影響、偶然の出会いからもたらされ、時間や空間を超えて作品、作家どうしが共鳴しあうこともあるだろう。

本展は、作家と作品の歴史上の関係や時空を超えた類縁性に注目し、当館のコレクションを出発点とした様々な作品を、「対話」をキーワードとして見ていったものである。例えばイギリスの抽象画家ベン・ニコルソンは、晩年のスイス滞在中に版画制作に専念したが、その摺りを担ったスイスの若きフランソワ・ラフランカは、ニコルソンの影響で自然と幾何学が融合した造形へと向かったことを取り上げた。また、自然の中で歩く行為を通して作品を制作しているリチャード・ロングと、徒歩で到達できる地点から地表を撮影した松江泰治の写真、絶滅危惧種の動物をモチーフとしたアンディ・ウォーホルのシルクスクリーンと、

地球上の生命を讃歌する永井一正のグラフィックポスターを並置し、共鳴する制作態度や造形性などを見た。

本展ではさらに、コレクションを別の地平へ切り開く試みとして、群馬県高崎市のアーティスト・イン・レジデンス・スペース「パレ・デ・パリ」の協力のもと、若手フランス人作家が当館のコレクションと対話する制作・展示を行った。招聘されたのは、風景のドローイングを制作のベースとするモリーヌ・コロマル Maureen Colomar(1984～)で、ある。作家は、当館のコレクションより金田実生《冬の呼吸》をピックアップし、鉛筆の線や円のモチーフなどを自らの作品に取り込みながら、具象と抽象の狭間の風景表現へと展開させた。その方法は、高崎の町や周囲の風景の断片を描きためたドローイングを、コピー機を使って増幅、拡大、コラージュし、映像や壁面に移し替えることで、支持体と線の表現の関係性について問うものであった。同時に、窓のある展示スペースを利用し、外の風景と対話するインスタレーションともなった。

目的や前提にとらわれないコミュニケーションの方法としての「対話」は、アートにおいても、それを枠組から解放し、新たな輝きを与える。本展では、二者が対話する形の解説パネルを作成し、展示へのアプローチにおいても慣例を払う試みを行った。

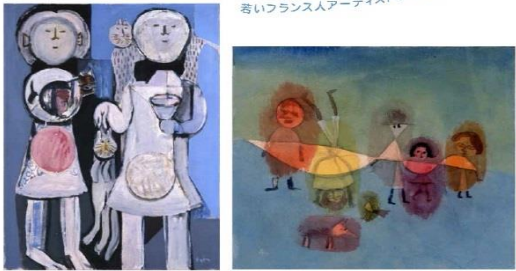
DIALOGUE - Encounters and Resonances
Between Artists and Artworks

ダイアローグ ー対話するアート

対話するアートって...?
作家どうしの出会いに注目、また作品どうしの共鳴に耳を傾けます。

展示作品はコレクションなんですわね。
会場の最後は特別企画も。

若いフランス人アーティストが「対話」に参加します!



2014年12月20日(土) - 2015年4月5日(日) 群馬県立館林美術館
December 20 (Saturday) 2014 - April 5 (Sunday) 2015 GUNMA MUSEUM OF ART, GUNMA

協賛 群馬県立館林美術館、パレ・デ・パリ、ブザンソン美術高等学院大学
会場 群馬県立館林美術館 展示室2・3・4 開館時間 午前10時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料 一般 200(240)円 大高生 150(120)円 (16歳未満は無料) 団体割引 20名以上 100円(120円) (16歳未満は無料)
主催 群馬県立館林美術館、パレ・デ・パリ、ブザンソン美術高等学院大学

The museum will be closed on Mondays except for January 19, a national holiday, January 23 (Tuesday), and on New Year Holidays (December 28 - January 3).
Hours 10:30 AM - 5:00 PM (Admission closes at 4:30 PM). Senior Citizen's Museum of Art, Teikoku, Exhibition Room 2, 3, and 4.
Admission: General 200 (240) yen (children 100 (120) yen). The museum is a non-profit organization and does not have a profit motive.
When all visitors to the museum (over 12 years old) are over 65 years old, the admission fee is 100 yen (120 yen) (children 100 (120) yen).
Organized by the Gunma Museum of Art, in partnership with the Japanese Association of Artists and Artists' Residency in Gunma.

群馬県立館林美術館 群馬県立館林美術館 TEL: 0276-2002
群馬県立館林美術館 TEL: 0276-2002 FAX: 0276-2002 E-mail: gunma-museum@gunma-museum.jp
GMAT IS

ポスター

出品目録

ポンポンとオルロフ ～鳥の彫刻をめぐって～

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
1	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5×32.2×30.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンポン	フクロウ	1923 (1927以降生前製造)	ブロンズ	17.7×7.9×8.2	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンポン	コンドル	1923 (1923以降生前製造)	石膏	25.5×18.0×9.3	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンポン	パン	1923頃 (1923以降生前製造)	ブロンズ	26.0×29.0×12.0	群馬県立館林美術館
参考資料	ロベール・レイ著『フランソワ・ポンポン』 1928刊					群馬県立館林美術館

ヘンリー・ムーア、パウル・クレイ、猪熊弦一郎 ～手のなかの原初的なもの～

6	ヘンリー・ムーア	母と子	1938	ブロンズ	11.4×7.4×5.7	群馬県立館林美術館
7	ヘンリー・ムーア	立っている少女	1981	ブロンズ	23.7×5.9×7.6	群馬県立館林美術館
8	ヘンリー・ムーア	小さな人体	1983	ブロンズ	14.2×6.0×5.4	群馬県立館林美術館
9	パウル・クレイ	子どもたち	1929	水彩、木炭・紙	27.5×33.5	群馬県立館林美術館
10	猪熊弦一郎	猫と二人の子供	1952	油彩・カンヴァス	90.7×72.5	群馬県立館林美術館

ニコルソン、ヘップワース、ラフランカ ～伝播する抽象のかたち～

11	ベン・ニコルソン	コンポジション 1947	1947	油彩、鉛筆、コンテ 鉛筆・板	45.7×45.7	群馬県立館林美術館
12	ベン・ニコルソン	『ギリシャ・トルコ風の形』 (11点組)	1967	エッチング・紙		群馬県立近代美術館
		1. 二つのトルコ風の形			24.5×18.3	展示期間:12/20-2/1
		2. エーゲ海			18.5×30.3	展示期間:12/20-2/1
		3. トルコ風の日時計と木			34.0×22.5	展示期間:12/20-2/1
		4. トルコ風の日時計と円柱			21.4×23.5	展示期間:2/3-3/1
		5. エーゲ海II			16.0×23.7	展示期間:12/20-2/1
		6. 波打つトルコ風の形			25.2×15.5	展示期間:2/3-3/1
		7. パロス			26.2×26.2	展示期間:2/3-3/1
		8. 円柱と木			29.5×20.6	展示期間:2/3-3/1
		9. トルコ風の形と葉			32.2×28.0	展示期間:3/3-4/5
		10. パトモス修道院			35.0×45.5	展示期間:3/3-4/5
		11. 円柱と木	1983	エッチング、手彩色・紙	29.3×20.6	展示期間:3/3-4/5
13	ベン・ニコルソン	1968年1月1日(滑らかな小石)	1968	油彩、水彩・板	64.0×60.0	群馬県立近代美術館
14	バーバラ・ヘップワース	球体のなかのうねり	1938	チーク材	25.7×33.5×27.4	群馬県立近代美術館
15	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951頃	スチール・ロッド	79.0×110.5×158.5	群馬県立館林美術館
16	フランソワ・ラフランカ	カマナ	1993	エンボス、石・紙	102.0×75.0	群馬県立館林美術館
17	フランソワ・ラフランカ	トスカナ・プロヴァンス	1995	エンボス、木・紙	68.0×54.0	群馬県立館林美術館
18	フランソワ・ラフランカ	メレーズ	1995	エンボス・紙	68.0×54.0	群馬県立館林美術館
19	フランソワ・ラフランカ	コルバズ	1995	エンボス、木・紙	68.0×54.0	群馬県立館林美術館
20	フランソワ・ラフランカ	ロヴァーナ	1995	石	12.0×42.0×30.0	群馬県立館林美術館

自然とのかかわり

21	マックス・エルンスト	ルイス・キャロル 魔法の角笛 (36点組)より	1970刊	リトグラフ・紙	50.0×32.6	群馬県立館林美術館
22	ジョアン・ミロ	トリスタン・ツァラ 独り語る (72点組)より	1948-50 (1950刊)	リトグラフ・紙	38.0×28.0	群馬県立館林美術館
23	ジャン・デュビュッフェ	ギュヴィック 壁 (15点組)	1945 (1950刊)	リトグラフ・紙	38.4×29.2	群馬県立館林美術館

詩人と画家 ～ミロ、エルンスト、デュビュッフェの詩画集～

24	エドウィン・ダルトン・スミス	ベンジャミン・モーン 『ボタニック・ガーデン』第	1827-28刊	エングレーヴィング、手彩色・紙(書籍)	19.3×15.7	群馬県立館林美術館
25	カール・ブロスフェルト	ヤグルマギクの花	1920年代 (2005年プリント)	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	30.0×20.0	群馬県立館林美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
26	カール・ブロスフェルト	ヒエンソウー乾いた葉の一部	1920年代 (2003年プリント)	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
27	カール・ブロスフェルト	オシダー渦巻状の若い 複葉	1920年代 (2001年プリント)	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
28	カール・ブロスフェルト	マメー若い羽状複葉	1920年代 (2000年プリント)	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
29	カール・ブロスフェルト	分枝	1920年代 (2001年プリント)	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
30	カール・ブロスフェルト	オオムギ	1920年代 (2003年プリント)	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
31	カール・ブロスフェルト	ヒヨスの萼	1920年代 (2001年プリント)	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
32	カール・ブロスフェルト	コエルピニアの種子	1920年代 (2000年プリント)	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
33	カール・ブロスフェルト	ニワトコ	1920年代 (2005年プリント)	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
34	カール・ブロスフェルト	マツムシソウの種子	1920年代 (2000年プリント)	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
35	ジム・ダイン	フローラの神殿 より ナンシーの庭の細部(別 刷り) 1. ストレリチア(ゴクラク チョウカ) 2. アイリス 4. チューリップ 7. アツモリソウ	1984	ドライポイント・紙	52.8×36.8	群馬県立館林美術館
36	日高理恵子	百日紅	1986	岩絵具・麻紙	139.0×168.0	群馬県立館林美術館
37	山口薫	森	1936	油彩・カンヴァス	72.7×60.6	群馬県立館林美術館
38	戸谷成雄	景体のバロック(8点組)	2002	木(間伐材)、灰、ア クリル	200.0×55.0×39.0 200.0×73.0×61.0 200.0×48.0×39.0 200.0×69.0×52.0 200.0×59.0×57.0 200.0×64.0×32.0 200.0×52.0×42.0 200.0×73.0×54.0	群馬県立館林美術館
39	近藤正勝	Eerie tree by the lake	2006	油彩・カンヴァス	195.0×142.0	群馬県立館林美術館
40	鶴岡政男	静かなる夜(山と月と湖)	1955	油彩・カンヴァス	53.0×65.2	群馬県立館林美術館
記号と歩行						
41	荒川修作	序	1974	アクリル・カンヴァス	195.5×305.4	群馬県立近代美術館寄託
42	宇佐美圭司	飛ぶ島 No.1 Flying Island (Laputa)	1985	油彩・カンヴァス	218.2×291.0	群馬県立館林美術館
43	リチャード・ロング	二つのサハラ作品(2点 組)	1988	グラノリトグラフ・紙	62.9×93.0 60.1×89.9	群馬県立館林美術館
44	リチャード・ロング	エイヴォン川のマッド・ド ローイング (3点組)	1998	グラノリトグラフ・ラグ ペーパー	50.0×40.0	群馬県立館林美術館
45	松江泰治	NEW ZEALAND 1996 #22	1996	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	44.9×55.7	群馬県立館林美術館
46		MOROCCO 1997 #9	1997	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	44.7×55.7	群馬県立館林美術館
47		ALTIPLANO 2000 #19	2000	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	44.7×55.7	群馬県立館林美術館
48		TEXAS 1999 #61	1999	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	44.7×55.7	群馬県立館林美術館
49		ALTIPLANO 2000 #20	2000	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	44.7×55.7	群馬県立館林美術館
50		EGYPT 1997 #12	1997	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	44.7×55.8	群馬県立館林美術館
51		UTAH 1997 #46	1997	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	44.7×55.7	群馬県立館林美術館
52		ARGENTINA 2000 #27	2000	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	44.7×55.7	群馬県立館林美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
53		CANARY 1993 #35	1993	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	44.7×55.8	群馬県立館林美術館
54		PRINCE EDWARD ISLAND 2002 #56	2002	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	44.7×55.8	群馬県立館林美術館
アンディ・ウォーホルと永井一正の動物						
55	永井一正	JAGDA平和と環境のポ スター展 “I’m here.” (水	1993	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	群馬県立館林美術館
56		KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (ゾウ／	1994	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	群馬県立館林美術館
57		CO EXIST (LIFE)	2000	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	群馬県立館林美術館
58		JAGDA平和と環境のポ スター展 “I’m here.” (水	1993	シルクスクリーン・紙	102.5×72.6	群馬県立館林美術館
59		LIFE (セミ)	2003	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	群馬県立館林美術館
60		永井一正のポスター展	1989	オフセット・紙	103.0×72.6	群馬県立館林美術館
61	アンディ・ウォーホル	《危機に瀕した種》より ロッキー羊	1983	シルクスクリーン・紙	96.5×96.7	群馬県立館林美術館
62		《危機に瀕した種》より グレーヴィーシマウマ	1983	シルクスクリーン・紙	96.5×96.7	群馬県立館林美術館
63		《危機に瀕した種》より アフリカ象	1983	シルクスクリーン・紙	96.5×96.7	群馬県立館林美術館
64		《危機に瀕した種》より クロサイ	1983	シルクスクリーン・紙	96.5×96.7	群馬県立館林美術館
65		《危機に瀕した種》より サンフランシスコ・シル バースポット	1983	シルクスクリーン・紙	96.5×96.7	群馬県立館林美術館
66		《危機に瀕した種》より 白頭ワシ	1983	シルクスクリーン・紙	96.5×96.7	群馬県立館林美術館
ニルス＝ウド、西村陽平 ～無常なるもの、自然と人間～						
67	ニルス＝ウド	水の家／トウヒの幹、白 樺の枝、柳の小枝、芝の 植栽(8点組)	1982	ゼラチン・シルバー・ プリント・紙	(1)～(7):125.0× 132.0 (8):125.0×140.0	群馬県立館林美術館
68	西村陽平	「ニルス＝ウドー自然へ」 2002	2002	焼成された紙(展覧 会カタログ)	9.3×15.5×13.8	群馬県立館林美術館
モリーン・コロマールとコレクションの対話						
69	金田実生	冬の呼吸	2004	水溶性クレヨン、鉛 筆・紙	155.0×174.0	群馬県立館林美術館
70	モリーン・コロマール	見晴らす	2014	コンテ、墨、チョー ク、マーカー、紙、 石膏ボード、映像		群馬県立館林美術館

◎印刷物・会場作成物

・ポスター B2

・チラシ A4

・パネル

挨拶1枚、解説10枚、略歴1枚

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に＊、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・SANKEI EXPRESS

2.16

「類縁性感じさせる有効な展示 「ダイアログ 対話するアート」＊
(アートクルーズ)

・上毛新聞

2.12

「彫刻と絵画の“対話” 館林 4月まで企画展」＊

2.21

「企画展 新たな視点「ダイアログ 対話するアート」＊

・上毛新聞シャトル

12.16

「「対話」テーマに絵画や版画80点 20日から館林美術館」

・群馬よみうり ビバ！アミーゴ

12.19

「「対話」キーワードの企画展 館林美術館 あす20日から約80点」＊

[定期刊行物]

・ギャラリー

12月号

「ダイアローグー対話するアート」〈今月の展覧会50+〉

・芸術新潮

1、2、3月号

「ダイアローグ 対話するアート」〈exhibition〉

・美術手帖

3月号

「群馬県立館林美術館 ダイアローグー対話するアート」〈ART NAVI〉

◎放送

[ラジオ]

・FM桐生

11.26

「「ダイアローグー対話するアート」展のお知らせ」〈ぐんまいいきき情報〉

1.6

「「ダイアローグー対話するアート」展 関連事業、作品解説会のお知らせ」〈ぐんまいいきき情報〉

3.19

「「ダイアローグー対話するアート」展 関連事業、作品解説会のお知らせ」〈ぐんまいいきき情報〉

・FM太郎

12.23

「「ダイアローグー対話するアート」展のお知らせ」〈ぐんまいいきき情報〉

3.10

「関連事業「たてび☆びじゅつ部」展覧会ポスターでエコバッグをつくろう」のお知らせ」〈ぐんまいいきき情報〉

[テレビ]

・群馬テレビ

12.24

「ダイアログ 館林美術館」〈ニュースeye8〉

・NHK

1.23

「ダイアログ展の紹介」〈ほっとぐんま640〉

◎関連事業

・パフォーマンス＋アーティスト・トーク

12.20

出演：モリー・コロマル（出品作家）

・ワークショップ

3.1

「百均造形－楊枝で作る球体オブジェ」

講師：森竹巳（造形作家）

・展覧会ポスタープレゼント

3.15

・たてび☆びじゅつ部

3.15

「展覧会ポスターでエコバッグをつくろう」



展示室2



展示室2



展示室3



展示室4

第1期 4月26日(土)～6月29日(日)

展示室1

[近現代の彫刻Ⅰ－彫刻のベストショット]

第2期 7月19日(土)～8月31日(日)

展示室1

[近現代の彫刻Ⅱ]

展示室4

[児童木版画展関連 コレクションコーナー 藤牧義夫]

第3期 9月20日(土)～11月30日(日)

展示室1

[近現代の彫刻Ⅲ－日本の現代抽象彫刻]

展示室4

[近現代の美術]

第4期 12月20日(土)～4月5日(日)

展示室1

[近現代の彫刻Ⅳ－彫刻にみる「かたさ」と「やわらかさ」]

◎印刷物・会場作成物

[近現代の彫刻Ⅰ－彫刻のベストショット]

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

[近現代の彫刻Ⅱ]

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

[児童木版画展関連 コレクションコーナー 藤牧義夫]

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

[近現代の彫刻Ⅲ－日本の現代抽象彫刻]

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

[近現代の美術]

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

[近現代の彫刻Ⅳ－彫刻にみる「かたさ」と「やわらかさ」]

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

近現代の彫刻 I ―彫刻のベストショット
平成26年4月26日(土)～6月29日(日) 展示室1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	コゼット	1888	ブロンズ	41.0 × 18.0 × 13.0	群馬県立館林美術館
2		ラクダ	1906 - 1930	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
3		ほろほろ鳥	1910 - 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
4		ヒグマ	1918 - 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
5		牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
6		フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
7		バン	1923 頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
8		シロクマ	1923 - 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
9		大黒豹	1930 - 1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
10	チャーナ・オルロフ	魚ノ噴水	1929	ブロンズ	40.7 × 40.5 × 13.3	群馬県立館林美術館
11	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
12	イサム・ノグチ	リス	1984 - 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
13	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951 頃	スチール・ロッド	79.0 × 110.5 × 158.5	群馬県立館林美術館
14	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
15	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
16	高田博厚	海	1962	ブロンズ	77.0 × 34.0 × 29.0	群馬県立館林美術館
17	土谷武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
18	掛井五郎	人間の問題研究III 四つの足	1985	ブロンズ	100.0 × 96.0 × 30.0	群馬県立館林美術館



近現代の彫刻Ⅱ

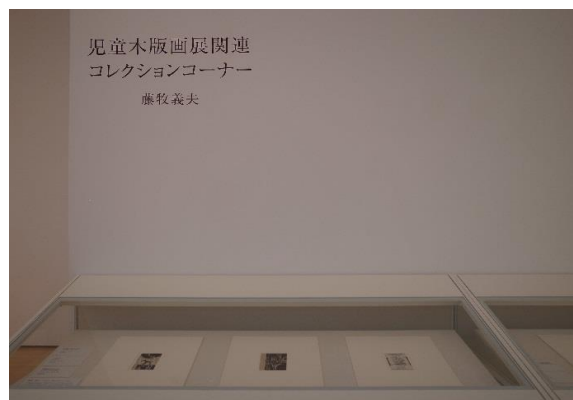
平成26年7月19日(土)～8月31日(日) 展示室1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
2		風見鶏	1908 - 1932	銅板	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
3		ラクダ	1906 - 1930	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
4		ほろほろ鳥	1910 - 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
5		ヒグマ	1918 - 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
6		牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
7		フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
8		バン	1923 頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
9		シロクマ	1923 - 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
10		シロクマ	1923 - 1933	ブロンズ	12.0 × 23.5 × 5.0	群馬県立館林美術館
11		大黒豹	1930 - 1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
12		立って頭を下げているイン ドの牝鹿	1927 - 1928	ブロンズ	12.5 × 20.8 × 8.0	群馬県立館林美術館
13	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
14	フェルナン・レジェ	花々の中の鳥	1953	ブロンズ	43.0 × 35.0 × 5.0	群馬県立館林美術館
15	チャーナ・オルロフ	魚／噴水	1929	ブロンズ	40.7 × 40.5 × 13.3	群馬県立館林美術館
16	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
17	イサム・ノグチ	リス	1984 - 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
18	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
19	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
20	土谷武	蝶Ⅰ	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館



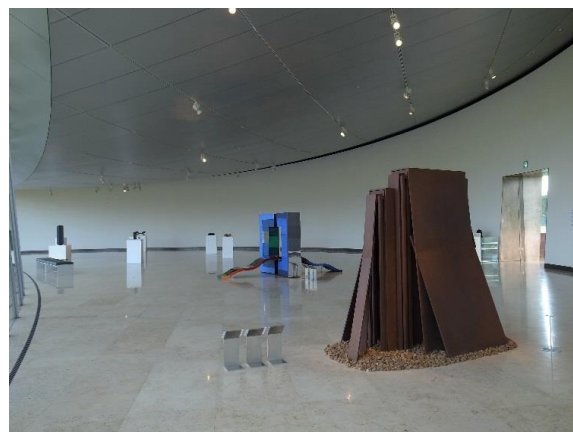
児童木版画展関連 コレクションコーナー 藤牧義夫
平成26年7月19日(土)～8月31日(日) 展示室4

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	藤牧義夫	太陽と自画像	1924	木版、手彩色・紙	17.8 × 12.6	群馬県立館林美術館
2		朝 『『新版画』第1号貼込』	1932	木版(単色)・紙	12.0 × 9.7	群馬県立館林美術館
3		年賀状(昭和5年用)	1929	木版・紙	14.2 × 9.3	群馬県立館林美術館
4		しねま	1932	木版・紙	15.3 × 11.4	群馬県立館林美術館
5		島のちいさん 『『新版画』第9号貼込』	1933	木版(多色)・紙	14.4 × 9.4	群馬県立館林美術館
6		まくら橋 『『新版画』第14号貼込』	1934	木版(多色)・紙	12.2 × 9.2	群馬県立館林美術館
7		裏街 『『新版画』第17号貼込』	1935	木版(多色)・紙	15.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
8		年賀状(昭和9年用)	1933	木版(多色)、手彩色・紙	13.9 × 9.1	群馬県立館林美術館
9		達磨	1933	木版(多色)・紙	18.2 × 21.3	群馬県立館林美術館 寄託
10		城沼の冬	1933	木版(多色)・紙	11.2 × 14.0	群馬県立館林美術館
11		井の頭風景	1934	木版(多色)・紙	14.8 × 16.9	群馬県立館林美術館 寄託



近現代の彫刻Ⅲ ―日本の現代抽象彫刻
平成26年9月20日(土)～11月30日(日) 展示室1

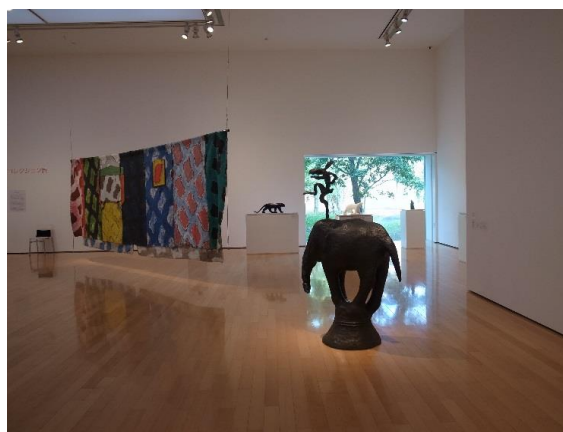
No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	和南城孝志	Archetypus空間への旅Ⅰ	1979	ブロンズ	12.0 × 35.0 × 35.0	和南城洋子氏寄贈
2		Archetypus空間への旅Ⅱ	1983	ブロンズ	10.0 × 30.0 × 30.0	和南城洋子氏寄贈
3		Archetypus円のイメージⅠ	1981	ベルギー産	20.0 × 50.0 × 50.0	和南城洋子氏寄贈
4	森亮太	石の鼓動	1980	黒大理石	8.0 × 19.5 × 14.0	群馬県立館林美術館
5		二つの突起	1982	黒御影石	27.0 × 55.0 × 17.0	群馬県立館林美術館
6		風の扉	1987	黒御影石	101.0 × 34.5 × 31.0	群馬県立館林美術館
7		座標	1988	黒御影石	27.5 × 27.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
8		波	1990	黒御影石	33.0 × 8.0 × 51.0	群馬県立館林美術館
9	岡本健彦	風神・雷神	1993	油彩、鉛、ステンレスチール、カンヴァス、合板	183.0 × 200.0 × 398.0	群馬県立館林美術館 寄託
10	保田春彦	立ち上がる幕舎	1992	鉄	206.5 × 223.0 × 122.0	群馬県立近代美術館



近現代の美術

平成26年9月20日(土)～11月30日(日) 展示室4

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	ラクダ	1906 - 1930	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
2		ほろほろ鳥	1910 - 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
3		ヒグマ	1918 - 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
4		雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
5		シロクマ	1923 - 1933	大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
6		大黒豹	1930 - 1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
7	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951 頃	スチール・ロッド	158.5 × 110.5 × 79.0	群馬県立館林美術館
8	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
9	ジャン=ミッシェル・ムーリス	トスカニア1	1990	アクリル、パステル・カンヴァス	200.0 × 200.0	群馬県立館林美術館
10		トスカニア4	1990	アクリル、パステル・カンヴァス	200.0 × 62.0	群馬県立館林美術館
11	ホセ・マリア・シシリア	赤い花々 I	1998	油彩、蜜蝋・	184.5 × 157.0	群馬県立館林美術館
12	クロード・ヴィアラ	無題	1979	アクリル・軍用テント	205.4 × 599.0	群馬県立館林美術館
13	アンディ・ウォーホル	花1～10	1970	シルクスクリーン・紙	91.5 × 91.5	群馬県立館林美術館
5						
22						



近現代の彫刻Ⅳ－彫刻にみる「かたさ」と「やわらかさ」
平成26年12月20日(土)～平成27年4月5日(日) 展示室 1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923 - 1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910 - 1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンポン	ヒグマ	1918 - 1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンポン	大黒豹	1930 - 1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
5	イサム・ノグチ	リス	1984 - 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
6	チャーナ・オルロフ	鳥／噴水	1929	ブロンズ	40.7 × 40.5 × 13.3	群馬県立館林美術館
7	ブルーノ・ロメダ	純粹な大円	2003	ブロンズ	188.0 × 191.2 × 20.0	群馬県立館林美術館
8	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
9	フェルナン・レジェ	花々の中の鳥	1953	ブロンズ	43.0 × 35.0 × 5.0	群馬県立館林美術館
10	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
11	森亮太	二つの突起	1982	黒御影石	27.0 × 55.0 × 17.0	群馬県立館林美術館
12	森亮太	波	1990	黒御影石	33.0 × 8.0 × 51.0	群馬県立館林美術館
13	土谷武	無題	1972	軟鋼	10.5 × 75.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
14	土谷武	蝶 I	1993	軟鋼	140.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
15	保田春彦	立ち上がる幕舎	1992	鉄	206.5 × 223.0 × 122.0	群馬県立近代美術館



D 彫刻家のアトリエ(別館)展示記録

彫刻家のアトリエの展示ケース内にて資料(一部複製)を展示。展示ごとに配布用解説を作成した。

第1期

「フランソワ・ポンポン関連資料より—彫刻家のアトリエができるまで—」

4月26日(土)～6月29日(日)

展示資料:写真38点、図面3点(複製) 20点

当館の別館「彫刻家のアトリエ」は、ポンポンの没年に撮影された写真をもとに、ポンポンが使っていた彫刻台や家具類に加え、同時代のアンティーク品などを用いて再構成したものである。設計図面や、オリジナル資料の搬入時の写真などを通して、「彫刻家のアトリエ」のできるまでを詳しく紹介した。

第2期

「フランソワ・ポンポン関連資料より—肖像彫刻について—」

7月19日(土)～8月31日(日)

展示資料:写真(複製)15点

ポンポンは初期には人物彫刻で大成することを夢見ており、宗教や文学から主題を得たり、故郷の家族や親しい人々をモデルにしたりして人物像を作っている。当館所蔵のポンポン資料の中にある、肖像彫刻の作品写真や、当館所蔵の人物彫刻の作品を取り上げ、それぞれのモデルとなった人についても紹介した。

第3期

「フランソワ・ポンポン関連資料より—ポンポンの手帳—」

9月20日(土)～11月30日(日)

展示資料:手帳抜粋ページ(複製)8点、写真(複製)4点

当館では、ポンポンの晩年の手帳を3冊所蔵している。作品の売買や展覧会の出品に関して記録していた「会計帳」2冊と、アトリエを訪れた人々の名前をメモした「訪問者記録簿」である。手帳の抜粋ページから、ポンポンが晩年に欧米や北アフリカの個人や美術館から作品の注文を受けていたことや、日本人による作品購入などについて解説した。

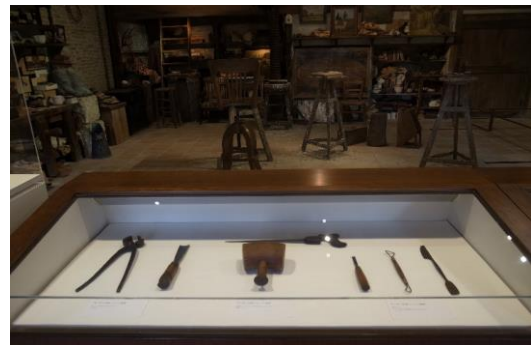
第4期

「フランソワ・ポンポン関連資料より—鋳型・道具類—」

12月20日(土)～4月5日(日)

展示資料:道具7点、写真(複製)17点、鋳型2点

当館ではポンポンが粘土や石膏で整形する際に使った道具類や、ブロンズや石膏作品のための型を所蔵している。ここでは、道具や型の実物をケース内に展示し、ポンポンがそれらをどのように使ったか、関連写真とともに紹介し、ポンポンの動物彫刻の制作過程にも触れた。



E 入館者数一覧表

企画展示(特別展示を含む)

	有料観覧者							無料観覧者						入館者 合計
	個人		団体		有料 合計			小中 生	学校 団体	身体障 害者等	その他	無料 合計	観覧者 合計	
	一般	大高生	小計	一般	大高生	小計								
シャガール 版画の世界 4/1-4/6 6日	802	28	830	0	0	0	830	118	0	51	833	1,002	1,832	2,086
陽光の大地—ブラジルの 日系人画家たちと大岩オ スカーン—兵庫県立美術館所 蔵リカルド・タケシ・赤川コレクショ ンを中心に— 4/27—6/29 56日	2,521	114	2,635	52	165	217	2,852	247	321	159	3,029	3,756	6,608	9,102
夏休み！いきもの図鑑 7/19—8/31 39日	4,265	262	4,527	1	26	27	4,554	2,442	83	137	6,657	9,319	13,873	15,764
ペルシアのきらめき— ペルセポリスとシルク ロードの美術 9/20-11/30 62日	2,572	87	2,659	82	0	82	2,741	187	944	229	5,677	7,037	9,778	13,110
ダイアローグ—対話す るアート 12/20-3/31 82日 (展示は平成27年4月 5日まで継続)	2,313	137	2,450	49	0	49	2,499	186	289	156	3,909	4,540	7,039	10,091
企画展示 計 245日	12,473	628	13,101	184	191	375	13,476	3,180	1,637	732	20,105	25,654	39,130	50,153

入館者数は、観覧者数に施設利用者数、教育普及事業参加者数を加えた総数。
平成26年度の総入館者数は、50,153人である。

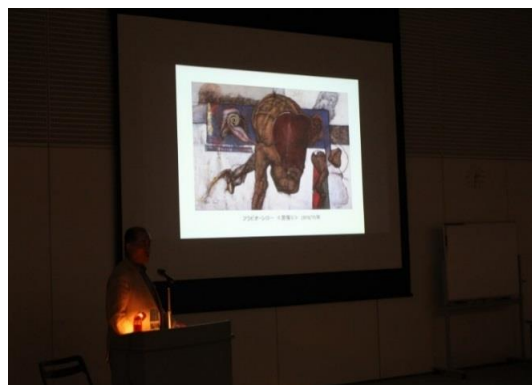
A 講演会・アーティスト・トーク・パフォーマンス

講演会・アーティスト・トーク・パフォーマンス

開催日	名称	講師	会場	参加者数
4.26	ギャラリートーク	大岩オスカル(出品作家)	展示室	85
4.27	レクチャー「日系ブラジル人アートと大岩オスカル」	大岩オスカル(出品作家)	講堂	30
5.18	「ブラジル美術の魅力ー赤川コレクションを中心にー」	金澤毅(美術評論家・中南米美術研究家)	講堂	18
9.25	「「ペルシアのきらめき」展の見どころ」	谷内克聡(当館学芸員)	展示室	9
9.28	「意外に似ている！古代ペルシアと日本の文化」	春田晴郎(東海大学文学部アジア文明学科教授)	講堂	44
10.12	「ガラスのきらめきーペルシアと正倉院」	宮下佐江子(古代オリエント博物館研究員)	展示室	41
11.1	「ペルシアの貴金属とコイン」	津村真輝子(古代オリエント博物館研究部長)	展示室	16
11.14	「セラミックロードー特別出展《奈良二彩小壺(群馬県松井田工業	谷内克聡(当館学芸員)	展示室	14
11.26	「ペルシア陶器と加藤卓男」	佐々木正直(当館館長)	展示室	22
12.2	パフォーマンス+アーティスト・トーク	モリー・コロマル(出品作家)	展示室	38



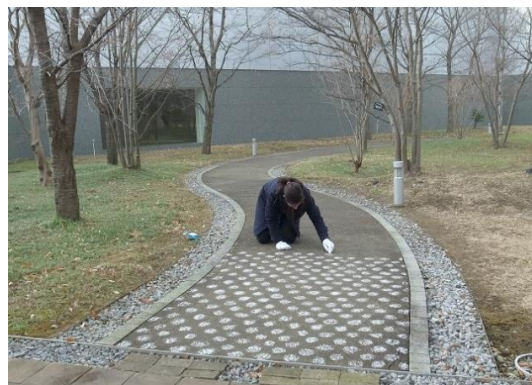
大岩オスカル ギャラリートーク



講演会「ブラジル美術の魅力ー赤川コレクションを中心にー」



ギャラリートーク「ガラスのきらめきーペルシアと正倉院」



モリー・コロマル パフォーマンス+アーティスト・トーク

B 作品解説会・ギャラリートーク・ポンポン・ツアー

1. 学芸員による作品解説会

開催日	展示の名称	解説者	会場	参加者数
5.13	陽光の大地	野澤広紀	展示室	5
5.16	陽光の大地★	野澤広紀、齊藤由紀子	展示室	1
5.21	陽光の大地	野澤広紀	展示室	3
6.14	陽光の大地	野澤広紀	展示室	15
6.22	陽光の大地	野澤広紀	展示室	18
7.23	夏休み！いきもの図鑑	神尾玲子	展示室	12
7.29	夏休み！いきもの図鑑	神尾玲子、齊藤由紀子	展示室	7

開催日	展示の名称	解説者	会場	参加者数
8.14	夏休み！いきもの図鑑	神尾玲子	展示室	40
8.24	夏休み！いきもの図鑑	神尾玲子	展示室	15
10.21	ペルシアのきらめき★	谷内克聡、齊藤由紀子	展示室	4
1.11	ダイアローグー対話するアート	松下和美	展示室	21
1.24	ダイアローグー対話するアート	松下和美	展示室	10
2.4	ダイアローグー対話するアート	松下和美	展示室	1
2.13	ダイアローグー対話するアート★	松下和美、齊藤由紀子	展示室	4
3.5	ダイアローグー対話するアート	松下和美	展示室	5
3.20	ダイアローグー対話するアート	松下和美	展示室	2

★印は「教職員のための模擬授業」

2. 子どもギャラリートーク

開催日	解説者	会場	参加者数
5.31	齊藤由紀子	展示室	2
6.70	齊藤由紀子	展示室	1
7.26	齊藤由紀子	展示室	3
8.90	齊藤由紀子	展示室	4
1.10	齊藤由紀子	展示室	2
2.70	齊藤由紀子	展示室	1
3.14	羽鳥あゆみ	展示室	2

※参加者のあった回のみ記した。

3. ポンポン・ツアー

開催日	解説者	会場	参加者数
6.1	神尾玲子	彫刻家のアトリエ	20
8.17	松下和美	彫刻家のアトリエ	55
11.9	松下和美	彫刻家のアトリエ	24
2.22	神尾玲子	彫刻家のアトリエ	23



「陽光の大地」展作品解説会



「夏休み！いきもの図鑑」展作品解説会



子どもギャラリートーク



ポンポン・ツアー

C ワークショップ

開催日	名称	講師	会場	参加者数
7.27	透明標本のひみつー実物に触れてみよう	富田伊織(出品作家)	展示室・ワークショップ室	34
8.23	群馬県立女子大学奥西ゼミワークショップ「みんなで謎のいきもの図鑑をつくろう」	群馬県立女子大学奥西ゼミ	ワークショップ室	114
3.1	百均造形ー楊枝で作る球体オブジェ	森竹巳(造形作家)	研修室	20

1. 透明標本のひみつー実物に触れてみよう

夏の企画展示「夏休み！いきもの図鑑」の出品作家である富田伊織氏を講師に招き、同氏の作品である「透明標本」について学ぶ場を設定した。展示室では、富田氏が作品を前に解説を行い、ワークショップ室では、作品の制作過程をスライドで紹介し、実物に触って感触確かめる体験を行った。参加者は材料や制作過程を知り、実物に触れることで、作品に対する理解が深まった。また、小中学生を対象に設定したことで、親子での参加が多く、自由研究の題材として、または、夏休みの発見の場として、親子で楽しめる内容となった。

2. 群馬県立女子大学奥西ゼミワークショップ「みんなで謎のいきもの図鑑をつくろう」

本事業は、県立女子大学奥西ゼミと連携し、夏休み期間中の児童・生徒を主な対象して行うワークショップであり、今回は、昨年度に引き続き2回目の開催となった。企画展示「夏休み！いきもの図鑑」の主題に合わせ、身近なものをフロッタージュし、それをもとに想像したオリジナルの生き物を作り出して楽しむものである。できた作品は図鑑になぞらえたパネルに貼り出し、博士の衣装を着て記念撮影をしたり、観覧客に鑑賞してもらったりした。参加者は想像力を働かせ、造形の面から生き物に親しみを抱いていた。

3. 百均造形ー楊枝で作る球体オブジェ

冬の企画展示、「ダイアローグー対話するアート」の関連事業として、造形作家である森竹巳氏を講師に招いてワークショップを開催した。森氏は、過去に「館林ジャンクション展」に出展、近隣の太田市に在住し活動を行っており、「百均造形」という、百円ショップで購入できるような身近な材料から誰でも気軽に制作できるアートをコンセプトとしている。ワークショップでは、森氏の作品や制作に対する思いなどのお話を聞いた後、発泡スチロールのボールに楊枝を均等にさしてオブジェを作り、百均造形の発想、制作を楽しんだ。



透明標本のひみつー実物に触れてみよう



群馬県立女子大学奥西ゼミワークショップ「みんなで謎のいきもの図鑑をつくろう」



百均造形ー楊枝で作る球体オブジェ

D 創作体験コーナー みんなのアトリエ「多版木版画摺り体験」

みんなのアトリエは、夏季企画展会期中の事業で、参加者に簡単な創作体験を提供している。平成21年度より、同会期中に「館林邑楽地区小学生木版画展」の開催、所蔵木版画作品の展示などを行っていることから、多版木版画摺り体験を内容としている。今回は講師に、作家の新井コー児氏を招いた。同氏の作品を通して、摺り方の基本や色の重なり方の多様性や美しさを学んだ。子どもから大人まで楽しく学べる簡単な摺り体験が実現できた。

開催日	講師	会場	参加者数
7.24	新井コー児	ワークショップ室	54
7.31	新井コー児	ワークショップ室	58
8.7	新井コー児	ワークショップ室	17
8.14	新井コー児	ワークショップ室	40
8.21	新井コー児	ワークショップ室	49
8.28	新井コー児	ワークショップ室	9
			計 227



みんなのアトリエ「多版木版画摺り体験」



みんなのアトリエ「多版木版画摺り体験」

E たてび☆びじゅつ部

1. たてび☆びじゅつ部

開催日	名称	会場	参加者数
5.31	「ブラジルカラーのミサンガを編もう」①	ワークショップ室	34
6.14	「ブラジルカラーのミサンガを編もう」②	ワークショップ室	32
10.5	「きらきらコインを作ろう」①	ワークショップ室	28
11.16	「きらきらコインを作ろう」②	ワークショップ室	113
3.15	「展覧会ポスターでエコバッグをつくろう！」	講堂	48



たてび☆びじゅつ部「ブラジルカラーのミサンガを編もう」



たてび☆びじゅつ部「きらきらコインを作ろう」

2. 展覧会ポスタープレゼント

企画展示「ダイアローグー対話するアート」の関連事業として、「展覧会ポスタープレゼント」を行った。当館が保管していた過去の展覧会ポスターを来館者にプレゼントする企画であり、当館10周年記念の際に行った好評の企画でもある。今回は、「たてび☆びじゅつ部」との同時開催で行い、プレゼントされたポスターをそのままワークショップ会場へ持ち込み創作体験ができる企画とした。参加者は多彩なポスターに見入りながら吟味し、お気に入りのポスターを選ぶと、エコバックづくりを楽しんでいた。

開催日	名称	会場	参加者数
3.15	展覧会ポスタープレゼント	講堂前通路	100



たてび☆びじゅつ部でつくったエコバック

F たてび土曜レクチャー

たてび土曜レクチャー「美術の楽しみ方」

開催日	名称	講師	会場	参加者数
1.31	第1回「エジプト美術ー描かれた魔術と神秘」	谷内克聡	講堂	21
2.7	第2回「舟越桂ー進化する木彫」	神尾玲子	講堂	16
2.14	第3回「リサ・ラーソン 北欧の陶芸家のあたたかなユーモア」	松下和美	講堂	13
2.21	第4回「資生堂のデザイナー 山名文夫の作品世界」	野澤広紀	研修室	12
2.28	第5回「テレビや現代美術に見る 日本の絵の楽しみ方。」	中島幸子	研修室	13
3.7	第6回「伝統工芸の楽しみ方」	佐々木正直(館長)	講堂	13



たてび土曜レクチャー「エジプト美術ー描かれた魔術と神秘」



たてび土曜レクチャー「伝統工芸の楽しみ方」

G コンサート・映画上映会

映画上映会

開催日	名称	講師	会場	参加者数
5.11	移民画家トミエ・オオタケを巡って(映像+トーク)	岡村淳(映画監督)	講堂	21
6.8	映画『グラス・ホッパー』上映会+トーク	藤橋誠(映画監督)	講堂	28
6.15	ブラジリアン・シネマ・デー ①『孤独なツバメたち』 ②『ヴィック・ムニーズ ごみアートの奇跡』 ③『僕のことを話そう』	協力:NPO法人たかさきコミュニティシネマ	講堂	70



映画『グラス・ホッパー』上映会+トーク

H 他団体への協力

1. 西邑楽高等学校主催特別講義

開催日	名称	講師	会場	参加者数
1.27	棚田康司特別講義「自作品を語る。」	棚田康司	講堂	84 (うち一般参加6)



棚田康司 特別講義「自作品を語る。」

2. 出前なんでも講座

開催日	名称	講師	会場	参加者数
10.22	芸術の現場から「夏休み！生き物図鑑ができるまで」	神尾玲子	群馬県立女子大	30
12.10	館林美術館の楽しみ方(太田市宝泉行政センター)	齊藤由紀子	太田市宝泉行政センター	50

I 学校連携その他

当館では、学校との連携に力を入れた活動を目標としているため、学校からの要望に可能な限り応え、研究授業の受け入れや、学校の授業における連携などを行った。また、解説を希望する団体については、観覧前に概要説明を行った。

1. 学校との連携事業

(1)連携授業等

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
4.30	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校3年生	齊藤由紀子、野澤広紀	美術館・研修室	32
5.22	美術館見学	ブラジル人学校エスコラ・パラレロ	松下和美、野澤広紀	美術館・講堂	79
5.23	美術館見学	ブラジル人学校エスコラ・パラレロ	松下和美、野澤広紀	美術館・講堂	70
6.3	職場体験	群馬県立館林高等特別支援学校	齊藤由紀子	美術館	1
6.4	職場体験	群馬県立館林高等特別支援学校	齊藤由紀子	美術館	1
6.10	職場体験	白鷗大学足利中学校2年生	齊藤由紀子	美術館	1
6.11	職場体験	白鷗大学足利中学校2年生	齊藤由紀子	美術館	1
6.12	職場体験	白鷗大学足利中学校2年生	齊藤由紀子	美術館	1
6.12	職場体験	館林市立第四中学校2年生	齊藤由紀子	美術館	2
6.13	職場体験	館林市立第四中学校2年生	齊藤由紀子	美術館	2
6.18	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校1年生	齊藤由紀子、野澤広紀	美術館・研修室	36
6.20	交流プロジェクト	インスチツート・エドゥカレ(茨城県・つくば市)	松下和美、野澤広紀、齊藤由紀子	美術館・講堂	31
6.20	交流プロジェクト	インスチツート・エドゥカショナル・TS ヘクレアソン(埼玉県・上里町)	松下和美、野澤広紀、齊藤由紀子	美術館・講堂	27
6.21	交流プロジェクト	大泉町小中学生	松下和美、齊藤由紀子	美術館・研修室	3
6.24	交流プロジェクト	日伯学園(大泉町)	松下和美、野澤広紀、齊藤由紀子	美術館・講堂	37
6.27	美術館見学(バリアフリー施設)	館林市立第八小学校	伊羅子典代、田口博文、坂田哲男	美術館・講堂	97
7.10	訪問授業	千代田町立千代田東小学校4年生	齊藤由紀子、澁澤友香莉	千代田町立千代田東小学校	31
7.25	美術館見学	館林市立第四中学校	齊藤由紀子	美術館・研修室	30
7.29	美術館見学	館林市立第十小学校	澁澤友香莉	美術館・展示室	15
7.31	美術館見学・WS体験	大泉町立北中学校	伊羅子典代	美術館・研修室	20
8.5	家庭教育学級	渡良瀬公民館・館林市立第九小学校1年生	齊藤由紀子	美術館・WS室	31
8.6	家庭教育学級	渡良瀬公民館・館林市立第九小学校1年生	齊藤由紀子	美術館・WS室	14
8.12	高校生による夏休み宿題相談室	群馬県立西邑楽高等学校	齊藤由紀子、澁澤友香莉、齋藤久美子	美術館・WS室	41
8.13	高校生による夏休み宿題相談室	群馬県立西邑楽高等学校	齊藤由紀子、澁澤友香莉、齋藤久美子	美術館・WS室	41
8.15	高校生による美術館ミニコンサート	群馬県立西邑楽高等学校	齊藤由紀子、伊羅子典代、羽鳥あゆみ	美術館・エントランスホール	113
8.21	美術館見学・WS体験	高崎市立箕郷中学校美術部	神尾玲子、齊藤由紀子	美術館・研修室	17
8.29	美術館見学	群馬県立館林高等特別支援学校	羽鳥あゆみ	美術館・研修室	14
9.11	職場体験	館林市立第一中学校2年生	齊藤由紀子	美術館	2
9.12	職場体験	館林市立第一中学校2年生	齊藤由紀子	美術館	2
9.24	職場体験	群馬県立あさひ養護学校	齊藤由紀子	美術館	1
9.25	職場体験	群馬県立あさひ養護学校	齊藤由紀子	美術館	1
9.25	美術館見学	多々良中学校2年生職場体験打合せ	齊藤由紀子	美術館	4
9.26	職場体験	群馬県立あさひ養護学校	齊藤由紀子	美術館	1

9.30	美術館見学	館林市立多々良中学校交換留学生	齊藤由紀子	美術館	9
10.2	美術館見学	邑楽町立邑楽中学校職場体験打合せ	齊藤由紀子	美術館	1
10.7	美術館見学	関東学園大学附属高等学校短期留学生	齊藤由紀子	美術館・研修室	16
10.8	職場体験	館林市立多々良中学校	齊藤由紀子	美術館	5
10.9	職場体験	館林市立多々良中学校	齊藤由紀子	美術館	5
10.10	職場体験	館林市立多々良中学校	齊藤由紀子	美術館	5
10.24	美術館見学	群馬県立館林高等特別支援学校3年生	齊藤由紀子	美術館	20
10.29	訪問授業	館林市立第八小学校2年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉	館林市立第八小学校	105
10.30	美術館見学	前橋市立二之宮小学校5年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉	美術館	53
10.30	職場体験	邑楽町立邑楽中学校	齊藤由紀子	美術館	1
10.31	職場体験	邑楽町立邑楽中学校	齊藤由紀子	美術館	1
11.5	美術館見学	前橋市立山王小学校	齊藤由紀子、 澁澤友香莉、 齋藤久美子	美術館	81
11.6	美術館見学	桐生市立広沢小学校	齊藤由紀子、 澁澤友香莉、 齋藤久美子	美術館・講堂・展示室	114
11.6	職場体験打合せ	館林市立第二中学校2年生	齊藤由紀子	美術館・展示室	2
11.7	訪問授業	館林市立第七小学校2年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉	館林市立第七小学校	33
11.7	訪問授業	館林市立第七小学校5年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉	館林市立第七小学校	33
11.12	訪問授業	館林市立第八小学校3年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉	館林市立第八小学校	89
11.13	美術館見学	館林市立第八小学校2年生	齊藤由紀子、 伊羅子典代、 羽鳥あゆみ	美術館・講堂・展示室	107
11.13	職場体験	館林市立第二中学校	齊藤由紀子	美術館	2
11.14	職場体験	館林市立第二中学校	齊藤由紀子	美術館	2
11.14	美術館見学	館林市立第八小学校1年生	齊藤由紀子、 伊羅子典代、 羽鳥あゆみ	美術館	94
11.15	訪問授業	館林市立第七小学校6年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉	館林市立第七小学校	55
11.16	美術館見学・WS体験	赤羽公民館・家庭教育学級(第五小学校1年生)	齊藤由紀子	美術館・講堂・WS室	47
11.18	美術館見学	館林市立第八小学校4年生	齊藤由紀子、 伊羅子典代、 齋藤久美子	美術館・講堂・展示室	97
11.18	美術館見学	館林市立第八小学校5年生	齊藤由紀子、 伊羅子典代、 齋藤久美子	美術館・講堂・展示室	119
11.19	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校2年生	齊藤由紀子、 野澤広紀	美術館	37
11.19	訪問授業	館林市立第七小学校1年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉	館林市立第七小学校	29
11.21	美術館見学	太田市立薮塚小学校	齊藤由紀子、 澁澤友香莉、 羽鳥あゆみ	美術館・講堂・展示室	166
11.25	訪問授業	館林市立第七小学校4年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉	館林市立第七小学校	39
11.25	訪問授業	館林市立第七小学校3年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉	館林市立第七小学校	34
11.26	美術館見学	館林市立多々良中学校特別支援学級	齋藤久美子	美術館・展示室	5
11.27	美術館見学	館林市立第八小学校3年生	齊藤由紀子、 伊羅子典代、 羽鳥あゆみ	美術館・展示室・別館	89
1.9	訪問授業	館林市立第二小学校5年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉	館林市立第二小学校	69
1.15	訪問授業	館林市立第二小学校6年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉、 羽鳥あゆみ	館林市立第二小学校	67
1.18	美術館見学	城沼公民館・家庭教育学級(第二小学校)	齊藤由紀子、 澁澤友香莉、 羽鳥あゆみ	美術館・講堂・展示室	24

1.20	美術館見学	館林市立第七小学校	齊藤由紀子、 澁澤友香莉	美術館・講堂・展示室	34
1.21	訪問授業	高崎市立東小学校5年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉、 羽鳥あゆみ	館林市立第二小学校	67
1.22	訪問授業	館林市立第二小学校4年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉、 羽鳥あゆみ	高崎市立東小学校	51
1.27	棚田康司特別講義「自 作品を語る。」	群馬県立西邑楽高等学校	齊藤由紀子、 伊羅子典代、 羽鳥あゆみ	美術館・講堂	78
1.28	訪問授業	館林市立第一小学校6年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉、 羽鳥あゆみ	館林市立第一小学校	107
1.29	訪問授業	館林市立第一小学校4年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉、 羽鳥あゆみ	館林市立第一小学校	33
2.10	訪問授業	館林市立第二小学校3年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉、 羽鳥あゆみ	館林市立第二小学校	49
2.12	訪問授業	館林市立第五小学校5年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉、 羽鳥あゆみ	館林市立第二小学校	70
2.13	訪問授業	館林市立第二小学校2年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉、 羽鳥あゆみ	館林市立第二小学校	68
2.13	美術館見学	館林市立多々良中学校	齊藤由紀子	館林市立第二小学校	4
2.17	訪問授業	館林市立第二小学校1年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉、 羽鳥あゆみ	館林市立第五小学校	28
2.18	訪問授業	館林市立第二小学校1年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉、 羽鳥あゆみ	美術館・展示室	29
3.4	訪問授業	館林市立第二小学校2年生	齊藤由紀子、 澁澤友香莉、 羽鳥あゆみ	館林市立第二小学校	68
3.6	美術館見学	太田市立尾島小学校5年生	齊藤由紀子、 伊羅子典代、 羽鳥あゆみ	美術館・講堂・展示室	82
3.11	美術館見学	館林市立多々良中学校3年生	齊藤由紀子	エントランスホール・展示室	89
3.20	美術館見学	群馬県立館林高等特別支援学校3 年生	齊藤由紀子	美術館・展示室	24
3.21	美術館見学	西公民館・家庭教育学級(第十小学 校)	澁澤友香莉	美術館・研修室	31
3.27	美術館見学	太田市立藪塚本町中学校美術部	齊藤由紀子	美術館・研修室	15

(2)団体解説のみを実施

開催日	学校名	担当	会場	参加者数
5.10	群馬県立前橋女子高等学校美術部	齊藤由紀子	研修室・展示室	21
5.21	栃木県立足利工業高等学校デザイン科	齊藤由紀子	講堂・展示室	126
5.22	館林市立多々良中学校特別支援学級	齊藤由紀子	研修室・展示室	7
6.13	ジェンテ・ミウダ校	齊藤由紀子	展示室	28
6.25	栃木県立足利特別支援学校	澁澤友香莉	エントランス・展示室	4
7.27	長野県上田染谷丘高等学校	伊羅子典代	研修室・展示室	27
8.11	群馬県立板倉高等学校	澁澤友香莉	研修室・展示室	9
8.29	館林市立多々良中学校特別支援学級	羽鳥あゆみ	展示室	7

(3)主任会、研修会の実施、参加

開催日	名称	学校名、組織名	担当	会場	参加者数
4.21	主任会(図工部会)・見学	館林小学校図工部会	齊藤由紀子	館林市立第二小学校	13
5.9	主任会(図工部会)・見学	館林小学校図工部会	齊藤由紀子	美術館・研修室	13
6.9	主任会(図工部会)	館林中学校美術部会	齊藤由紀子	館林市立第二中学校	7
6.13	主任会(図工部会)・見学	邑楽郡小学校図工主任会	齊藤由紀子	美術館・研修室	18
7.29	研修会	邑楽郡小学校司書部会	齊藤由紀子	美術館・研修室	24
7.30	邑楽郡小学校実技講習 会	邑楽郡小学校図工主任会・教員	齊藤由紀子	美術館・WS室	30
8.20	研修会	館林市立第十小学校	齊藤由紀子	美術館・研修室・展示室	18
8.20	研修会	県立館林高等特別支援学校 文化 連盟	齊藤由紀子	美術館・研修室・展示室	24

9.16	主任会(美術部会)	館林中学校美術部会	齊藤由紀子	館林市立第三中学校	7
10.10	主任会(図工部会)・見学	館林小学校図工部会	齊藤由紀子	美術館・研修室	13
11.14	館林市小中学校美術展 搬入	館林市小中学校図工美術部会	齊藤由紀子	三の丸芸術ホール	20
11.18	主任会(図工部会)・見学	邑楽郡小学校図工主任会	齊藤由紀子	美術館・研修室	18
1.16	主任会(図工部会)・見学	館林小学校図工部会	齊藤由紀子	美術館・研修室	13
1.26	主任会(美術部会)	館林中学校美術部会	齊藤由紀子	館林市立第四中学校	7
2.12	主任会(図工部会)	邑楽郡小学校図工主任会	齊藤由紀子	大泉町立南小学校	18
3.7	研修会	武蔵野美術大学共通彫塑研究室	神尾玲子	美術館・別館	13

2. 団体観覧者への解説

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	0	1	3	1	2	1	7	4	0	1	1	1	22
人数	0	8	64	28	57	31	160	78	0	12	22	43	503



学校訪問鑑賞授業



美術館見学



高校生による夏休み宿題相談室



高校生による美術館ミニコンサート

J 地域に開かれた美術館づくり

館林美術館の施設と機能を活かし、地区小学生の健全育成、芸術創作活動の振興、美術鑑賞力の向上を図るとともに、地域に開かれた美術館づくりを推進するために、館林が生んだ木版画家である藤牧義夫にちなみ、館林市及び邑楽郡5町の各市町及び各市町教育委員会の協力を得て、「第6回 日本を代表する木版画家「藤牧義夫」記念館林邑楽地区小学生木版画展」を開催した。会場は講堂を使用し、参加小学校全27校を一週間6会期に分けて展示した。31日間の全会期中に、合計3,153人が観覧した。

会期	開催期間	参加校	入室者数
第1期	7.19-7.24	館林市立第一小学校、館林市立第二小学校、館林市立第三小学校、館林市立第四小学校	382
第2期	7.26-7.31	館林市立第五小学校、館林市立第六小学校、館林市立第七小学校、館林市立第八小学校、館林市立第九小学校	431
第3期	8.2-8.7	館林市立第十小学校、館林市立美園小学校、板倉町立東小学校、板倉町立西小学校、板倉町立南小学校、板倉町立北小学校	459
第4期	8.9-8.14	明和町立明和東小学校、明和町立明和西小学校、大泉町立南小学校、大泉町立北小学校	655
第5期	8.16-8.21	大泉町立西小学校、大泉町立東小学校、千代田町立西小学校、千代田町立東小学校	661
第6期	8.23-8.28	邑楽町立中野小学校、邑楽町立高島小学校、邑楽町立長柄小学校、邑楽町立中野東小学校	565



ポスター



展示会場

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に※、県内媒体の情報のみの記事は省略)

小学生木版画展

〔新聞等〕

・ANタイムズ

6.20

「館林邑楽地区小学生木版画展」

・おおたタイムス

7.19

「木版画家 藤牧義夫記念小学生木版画展」

・上毛新聞

8.18

「児童1670人が木版画 館林 藤牧義夫記念の作品展」

・上毛新聞シャトル

8.19、8.26

「館林邑楽地区小学生木版画展」〈展覧会〉

〔定期刊行物〕

・美術屋 百兵衛

No.31

「館林出身の藤牧義夫にちなんで、毎年、小学生の木版画を開催。」

教育普及事業・その他

〔新聞等〕

・おおたタイムス

10.4

「オータムコンサート 10月17日」

・上毛新聞

7.22

「県立の博物館 美術館 5館収蔵スペース限界 資料置けない」

8.10

「ロシアバレエの粋 館林で17日に公演 絵画展示も 地元出身・清瀧さん出演」

8.19

「県立館林美術館 多版木版画摺りに挑戦 鮮やか「仕上がり100点」※

8.27

「美術館でサクソ 館林 西邑楽高生ら演奏」※

・上毛新聞シャトル

12.5

「ピアノと声楽美術館で演奏 来月16日」

12.24

「彫刻家の棚田さん自作品を講義 来月、館林美術館」

1.9

「創作体験講座でボランティアを 館林美術館が募集」

・群馬よみうり ビバ！アミーゴ

6.13

「アートを手近に感じて 美術館のミュージアムショップをご案内 県立館林美術館」

〔定期刊行物〕

・散歩の達人MOOK 東武スカイツリーラインさんぽ

2014年

「群馬県立館林美術館」〈伊勢崎線〉

・美術屋・百兵衛

No.31

「群馬県立館林美術館」※

・raifu

5月号

「県立館林美術館」

◎群馬県立館林美術館平成27年度事業案内
B4判変形4つ折り
平成27年3月発行
発行部数 25,000部



◎たてび☆スクールプログラム
A3判2つ折り
平成27年3月発行
発行部数 5,000部

たてび☆ スクール プログラム



群馬県立館林美術館では、子どもたちに美術館を楽しんでもらうための、スクールプログラムを実施しています。子どもたちが、美術作品との出会いを通して、豊かな感性と創造力をはぐくむよう、専門スタッフが鑑賞学習のサポートをします。学校の授業、行事の一環として、お気軽にご利用ください。

こんなことができます！美術館の活用法

家庭学習や親子行事に
親子で作品を鑑賞したり、アートゲームやワークショップ（創作体験）をしたりしながら、美術に親しむことができます。当館スタッフが訪問して行うことも可能です。

図工や美術の授業に
作品鑑賞のためのワークシートを用意しています。ご相談に応じて、各学校の美術に合わせた美術館見学プログラムを作成します。当館スタッフが学校へ訪問し授業を行う「学校訪問鑑賞授業」も受け付けています。

社会科見学や修学旅行のコースに
美術館には緑の空気が美しい庭園があり、昼食場所としてご利用いただけます。雨天の場合は、当館の講堂（または研修室）をご利用いただけます。周辺には40名の彫刻が並ぶ「彫刻の小道」や、自然豊かな「多々良沼公園」が整備されており、観光にも適しています。

目的に合わせて、最適なプログラムをご提案します。まずは、ご相談ください。

L ボランティア

夏季の事業、「みんなのアトリエ 多版本版画摺り体験」の開催時に、以下のとおりボランティアを募集した。

期日	名称	人数
7.24、7.31、 8.7、8.14、 8.21、8.28	「みんなのアトリエ」制作補助ボランティア	36
5.31、6.14、 10.5、11.16、 3.15	「たてび☆びじゅつ部」制作補助ボランティア	13

M 友の会(群馬県立館林美術館友の会)

1. 運営会議

- (1)総会(6.21)
- (2)理事会(6.21)
- (3)運営委員会(3回 6.3、7.4、11.7)
事業の企画運営等具体的事項の協議

2. 美術館協力支援事業

- (1)ミュージアムショップの運営
展覧会図録、絵はがき、美術関係書籍その他の展示販売をととして来館者へのサービスに努めた。
- (2)レセプションの開催(4.26)
美術館との共催

3. 会員対象事業

- (1)美術館情報の提供(4.4、5.21、7.10、9.10、11.13、12.2、3.31)
展覧会や美術講座等の広報資料や、友の会からのお知らせ等を随時郵送し、会員の美術鑑賞への参加と、会員による周辺の人々への広報、普及活動の促進を図った。
- (2)コンサートの開催(10.18、2.14)
大城梨花・大城杏花によるコンサート 10月17日 演奏者:大城梨花(フルート)・大城杏花(ピアノ) 参加者81名
ニューイヤーコンサート 1月16日 演奏者:首藤健太郎(ピアノ) 参加者102名
- (3)ミュージアム・ツアーの開催(9.12)
美術の鑑賞と会員相互の親睦を深めた。参加者50名
訪問先 国立新美術館 弥生美術館
- (4)館長レクチャー(3.8)
「風神雷神の美術一宗達以前とその後」 参加者30名

A 美術作品

1. 作品収蔵状況 平成27年3月31日現在

作家区分	県内作家			国内作家			外国作家			総計
収蔵方法	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	
部門										
日本画	4	9	13	1	1	2	0	0	0	15
油彩その他	7	0	7	18	8	26	6	0	6	39
水彩・素描	10	6	16	3	0	3	8	0	8	27
版画	22	0	22	289	252	541	52	0	52	615
写真	0	0	0	60	7	67	12	0	12	79
彫刻	5	8	13	4	5	9	125	0	125	147
染織・工芸	5	3	8	3	0	3	4	0	4	15
計	53	26	79	378	273	651	207	0	207	937

2. 平成26年度 収蔵作品

平成26年度は、新たに収蔵した作品はなかった。

3. 平成26年度 寄託作品

作者名	作品名	(* 新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法 (高さ × 幅 × 奥行cm)
大森暁生	Swan in the frame (Type-A)*		2006	檜、漆、彩色、ステンレス、アガチス、銅	70.0 × 130.0 × 67.0
長重之	視床～青*		1995	木、布、アクリル絵具	100.0 × 162.0 × 7.0
長重之	視床*		2010	水彩、コラージュ・紙	92.5 × 116.0
山口啓介	花の心臓 / 炭素原子モデル		2003	顔料、樹脂、自家製樹脂、アクリル・カンヴァス	270.0 × 181.0
中平四郎	讀賣		1924	木彫	60.0 × 34.0 × 25.0
藤牧義夫	関連資料 全21点				
清宮質文	葦		1958	木版・紙	21.7 × 18.8
清宮質文	むかしのはなし		1958	木版・紙	8.3 × 16.3
清宮質文	古い日		1960	木版・紙	17.2 × 14.2
清宮質文	幼きもの		1963	木版・紙	24.1 × 21.3
清宮質文	九月の海辺		1970	木版・紙	13.3 × 23.3
清宮質文	北辺の小屋		1971	ガラス絵	16.6 × 22.0
清宮質文	暗い夕日 (暗い夕日1)		1972	木版・紙	21.0 × 19.2
清宮質文	冬 (暗い夕日2)		1972	木版・紙	23.0 × 21.8
清宮質文	トンネルの出口 (暗い夕日3)		1972	木版・紙	23.4 × 20.1
清宮質文	虜囚の窓 (暗い夕日4)		1972	木版・紙	24.3 × 20.0
清宮質文	夕方の静物 (暗い夕日5)		1972	木版・紙	23.0 × 21.9
清宮質文	窓のカンテラ (暗い夕日6)		1972	木版・紙	24.2 × 15.0
清宮質文	入日 (暗い夕日7)		1972	木版・紙	16.2 × 25.8
清宮質文	町外れ (暗い夕日8)		1972	木版・紙	16.6 × 22.0
清宮質文	夕日の静物 (暗い夕日9)		1972	木版・紙	13.7 × 22.2
清宮質文	塙の中の魚 (暗い夕日10)		1972	木版・紙	20.0 × 22.6
清宮質文	深夜の蠟燭		1974	木版・紙	18.0 × 15.2
清宮質文	星占い ～去りゆく凶星～		1975	木版・紙	15.2 × 18.0
清宮質文	秋の夕日		1976	木版・紙	16.2 × 14.1
清宮質文	作品		1981	水彩・紙	10.0 × 16.0
清宮質文	黑夜の鳥		1982	木版・紙	12.5 × 14.0
清宮質文	われむかしの日いいしえの年をおもえり		1982	木版・紙	15.2 × 13.0
清宮質文	夢の中へ		1983	木版・紙	15.5 × 6.8
清宮質文	失題 (モノタイプ)		1983	モノタイプ・紙	20.8 × 16.2
清宮質文	失題 (モノタイプ)		1983	モノタイプ・紙	19.3 × 11.2
清宮質文	失題 (モノタイプ)		1983	モノタイプ・紙	21.6 × 16.2
清宮質文	夕日のとり		1985	木版・紙	7.8 × 16.0
清宮質文	なんじの革囊にわが涙を		1985	木版・紙	17.5 × 16.9
清宮質文	晩夏		1985	木版・紙	6.8 × 7.0
清宮質文	秋の午後		1985	木版・紙	16.8 × 27.7
清宮質文	冬の夕 (絶筆)		1991	ガラス絵	12.2 × 16.2
清宮質文	未完 (絶筆)		1991	ガラス絵	13.0 × 16.6
清宮質文	失題		1960年代	水彩・紙	14.8 × 11.8
清宮質文	歲月		1970	木版画	18.9 × 25.9
清宮質文	眠り		1966	木版・紙	19.8 × 27.8
清宮質文	夏の終わり		1967	木版・紙	10.2 × 22.2

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (高さ × 幅 × 奥行cm)		
清宮質文	月と運河(試摺り)	1988	木版・紙	16.5	×	16.4
清宮質文	無題(未完)	1991	木版・紙	23.0	×	30.6
駒井哲郎・小磯良平・清宮質文・浜田知明	駒井哲郎のオマージュ	1982	エッチング他	43.6	×	34.6
三輪途道	YUUKO	1996-2004	檜、漆、膠、白土、顔料	153.0	×	48.0 × 25.0
三輪途道	野辺の王様	1998	檜、漆、膠、白土、顔料	125.0	×	32.0 × 40.0
三輪途道	温度ーH.MIWAー	1999	檜、漆、膠、白土、顔料	99.0	×	57.0 × 37.0
三輪途道	縄文からの道	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	12.0	×	25.0 × 16.0
三輪途道	TOKYO-2000.1.12.Age60-	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	102.0	×	50.0 × 28.0
三輪途道	猿を待ってた日	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	23.0	×	16.5 × 23.0
三輪途道	下仁田ーおじい	2003	檜、漆、膠、顔料	79.0	×	59.0 × 64.0
三輪途道	下仁田ーおばあ	2003	檜、漆、膠、顔料	83.0	×	50.0 × 56.0
三輪途道	おじいの宝Ⅱ(金歯の位置違い)	2003	檜、漆、金箔	3.0	×	7.5 × 5.0
三輪途道	猫の抜け道	2005	檜、漆、膠、顔料	25.0	×	68.0 × 14.0
三輪途道	発電所のなめくじ	2005	檜、漆、膠、白土、顔料	4.0	×	6.0 × 14.0
			(5点組)	5.0	×	8.0 × 20.0
				6.0	×	9.0 × 28.0
				13.0	×	10.0 × 18.0
				13.0	×	10.0 × 18.0
三輪途道	父子像	2007	檜、漆、膠、顔料	175.0	×	42.0 × 42.0
三輪途道	乳母と私Ⅱ	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	90.0	×	58.0 × 71.0
三輪途道	父子像Ⅱ	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	159.0	×	99.0 × 8.0
松井冬子	同世代のエジプト人	2007	鉛筆・紙	43.7	×	36.7
松井冬子	トメス4世	2007	鉛筆・紙	36.2	×	44.1
カンノサカン	無題	2007	ウレタン、アクリル・パネルに貼られたカンヴァス	30.0	×	30.0
大竹利絵子	へび	2006	木	31.0	×	21.5 × 17.0
川島秀明	stare	2008	アクリル・キャンバス	50.0	×	72.7
日野之彦	パーマ	2007	鉛筆・紙	103.5	×	72.5
日野之彦	縞の服	2008	鉛筆・紙	101.6	×	50.4
会田誠	トラウマンボーイ02	2007	パネル、紙、色鉛筆、水彩絵具、油性マーカー	36.5	×	51.5
会田誠&加藤愛	愛ちゃん盆栽(ほおずき) 小料理屋にて	2008	ラムダプリント	86.8	×	125.0
Chim Pom	イケてる人達みたい02	2008	Cプリント、DVD	31.0	×	31.0
加藤泉	無題	2009	油彩・カンヴァス	33.3	×	24.0
町田久美	ひとり	2003	雲肌麻紙・墨	130.0	×	97.0
森田恒友	漁村図	未詳	紙本墨画・軸	94.5	×	90.0
岸浪百草居	画卷(魚など)	未詳	紙本著色・卷子	24.0	×	625.9
津田青楓	山高水長画卷	1937	紙本著色・卷子	30.2	×	538.2
山口啓介	花の心臓 / 蕊柱	2003	油彩・カンヴァス	270.0	×	181.0
清宮質文	蝶	1963	木版・紙	24.6	×	22.1
掛井五郎	人間の問題研究Ⅲ四つの足	1985	ブロンズ	100.0	×	96.0 × 30.0
岡本健彦	風神・雷神	1993	油彩、鉛、ステンレスチール、カンヴァス、合板	183.0	×	200.0 × 398.0
日野之彦	見つめ合い	2011	油彩・カンヴァス	91.0	×	91.0
日野之彦	二人は走る	2010	油彩・カンヴァス	259.1	×	193.9
アルブレヒト・デューラー	書斎の聖ヒエロニムス	1514	エングレーヴィング・紙	24.4	×	18.8
西村盛雄	甘露の雨 マナ9	2002	木	37.0	×	220.0 × 220.0
勅使河原蒼風	わかれ	1963	鉄	120.0	×	33.0 × 32.5
勅使河原蒼風	群れ	1953	鉄	103.0	×	184.0 × 57.0
勅使河原蒼風	ビーナス	1957	木	68.0	×	65.0 × 54.0
勅使河原蒼風	クビ	1962	木	129.5	×	62.5 × 30.0
勅使河原蒼風	クサナギ	1967	銅	252.5	×	64.5 × 50.0
勅使河原蒼風	題不詳	不詳	銅	44.0	×	53.0 × 48.0
勅使河原蒼風	ミコ	1967	銅	96.0	×	49.0 × 25.0

4. 館蔵作品貸出状況

4-1. 館蔵作品貸出状況

作者名	作品名（*印は寄託作品）	貸出先	展覧会名	会場・会期
パブロ・ピカソ	バルザック『知られざる傑作』 ビュフォン『博物誌』 『真夜中の馬たち』 『闘牛技』	町田市立国際版画美術館 足利市立美術館	パブロ・ピカソ 版画の線とフォルム	町田市立国際版画美術館 4.12-6.15 足利市立美術館 6.28-8.31
ラウル・デュフィ	アポリネール『動物詩集あるいはオルフェウスの お供たち』(32点組)	Bunkamura ザ・ミュージアム あべのハルカス美術館 愛知県美術館	ラウル・デュフィ展	Bunkamura ザ・ミュージアム 6.7-7.27 あべのハルカス美術館 8.5-9.28 愛知県美術館 10.9-12.7
南桂子	2羽の鳥と落葉 春の野原 月 少女 花の籠 船 木 2本の樹 公園 落葉 羊飼の少女 鳥と花 海の塔 平和の木 秋 山 鳥 花のある木 落葉 羊飼の少女 街 船と鳥 鳥と果実 魚と舟 さくらんぼの木 少女と風せん ススキと2羽の鳥 街と6羽の飛ぶ鳥 雨の日 少女と木 キツツキ 木と少女 塔と少女 2本の木と少女 2人の少女 森の中の城 2人の少女と猫 花と蝶 異国の鳥 庭園にて 街への門 少女と青い鳥 少女と塔 青い城 2人の少女と風せん しだの中の鳥 マロニエと少女 鳥と貝 秋 少女と青い鳥 2人の少女と蝶 みみづく 林と少女 時計台 落葉と少女 夏の終り(馬) 2本の木と鳥 花 山の村	富岡市立美術館・ 福沢一郎記念美術館	南桂子版画展 一少女の夢	富岡市立美術館・福 沢一郎記念美術館 7.19-8.24

作者名	作品名（*印は寄託作品）	貸出先	展覧会名	会場・会期
	初冬の木			
エドワード・バーン＝ジョーンズ	フラワー・ブック(8点) ヤコブの梯子 神の花 金の門 天国の梯子 ベツレヘムの星 朝の栄光 黒い大天使 散りはこべ	三重県立美術館	空飛ぶ美術館	三重県立美術館 3.7-5.6

5. 保存・修復

作者名	作品名	技法・材質	種別	処置内容
J.-J.グランヴィル	当世風変身譚	木口木版、手彩色・紙	版画	図版頁の分離と修復処理
	別館「彫刻家のアトリエ」内 絵画額		額縁	当時の写真をもとに新規に再現制作(木彫金箔仕上)

B 図書資料その他

平成26年度 収蔵図書

種類区分	一般図書	定期刊行物	カタログ	年報目録	研究報告	その他	計
購入	213	114	16	0	1	0	344
寄贈	42	74	248	46	44	2	456
計	255	188	264	46	45	2	800

職員名簿

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

館長	佐々木正直
副館長	小山喜一

＜教育普及係＞

教育普及係長	高田晴夫
主幹(事)	山本悦子
主幹(事)	田口博文
主幹(事)	齊藤由紀子
学芸員	野澤広紀
教育普及員	齋藤久美子
	澁澤友香莉
	羽鳥あゆみ
	最上雅世
	松本梨江

＜学芸係＞

補佐(学芸係長)	中島幸子
主幹(学芸員)	谷内克聡
主幹(学芸員)	神尾玲子
主幹(学芸員)	松下和美
資料整理員	伊羅子典代